

平成30年度  
平塚市転入出者アンケート調査  
結果報告書

平成31年3月  
平塚市



## はじめに

この冊子は、平成31年1月に実施した「平塚市転入出者アンケート調査」の結果を取りまとめたものです。

この調査では、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料として活用することを目的とし、本市へ転入をした市民の皆様、また本市から転出をした市民の皆様の転入出のきっかけや理由、本市への印象などを調査しました。

この結果を、これからの行政運営や計画策定の参考にするとともに、市民の皆様を始め、各方面の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査に御協力をいただいた市民の皆様に御礼を申し上げます。

平成31年3月

平塚市長 落合 克宏



## 目次

第1章 調査の概要	1
1 目的	2
2 調査方法	2
3 標本数及び回収結果	2
4 調査項目	3
5 結果利用上の注意	4
第2章 結果の概要	5
1 転入者アンケート調査結果の概要	7
2 転出者アンケート調査結果の概要	29
第3章 結果の考察	47
結果の考察	49
資料編	59
1 調査票（転入者アンケート）	61
2 調査票（転出者アンケート）	71



# 第1章 調査の概要

## 1. 目的

子育て世代を中心に、本市への転入理由を把握するとともに、本市からの転出理由を調査し、本市の強みや弱み等を把握することで、今後の施策立案の基礎資料とする。

## 2. 調査方法

- (1) 調査対象 平成29年1月1日から平成29年12月31日における転入出者のうち、「25～39歳の男女」かつ「東京都または神奈川県内他市町村から平塚市への転入者」、「平塚市から東京都または神奈川県内他市町村への転出者」に該当する各々1,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布、郵送回収（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
- (4) 調査期間 平成31年1月11日（金）～1月25日（金）
- (5) 調査票 本報告書の巻末を参照

## 3. 標本数及び回収結果

### (1) 標本数

#### 【転入者】

発送	1,000件
戻り	10件（相手方の不明のため）
実質標本数	990件

#### 【転出者】

発送	1,000件
戻り	71件（相手方の不明のため）
実質標本数	929件

(2) 有効回収数 【転入者】 280件 【転出者】 245件

(3) 有効回収率 【転入者】 28.3% 【転出者】 26.4%

#### 【転入者】

区分 地区	発送 A	戻り B	実質標本数 C=A-B	有効回収数 D	未回収数 C-D	有効回収率 D/C
計	1,000	10	990	280	710	28.3%

#### 【転出者】

区分 地区	発送 A	戻り B	実質標本数 C=A-B	有効回収数 D	未回収数 C-D	有効回収率 D/C
計	1,000	71	929	245	684	26.4%

## 4. 調査項目

### (1) 転入者アンケート

種別	設問No.	設問内容
属性	1	性別
	2	年齢（対象者5歳区分）
	3	職業等
	4	同居の子どもの人数
	5	子どもの年代
	6	転入後の平塚市の居住地区
	7	転入前の住所
	8	平塚市との関わり
きっかけ	9	きっかけとなった方
	10	転入理由（きっかけ）
転入先 検討状況	11	他市町村の検討状況
	12	転入先に重視した条件
	13	転入先の検討情報源
シティプロモーションに関する状況	14	シティプロモーションの認知状況
	15	シティプロモーションは参考になったか
転入先決定理由	16	平塚市に決めた主な理由
	17	平塚市に決めた理由
	18	平塚市に決めた理由（自由記述）
評価・印象	19	平塚市に居住しての評価
	20	平塚市の良かったところ（自由記述）
	21	平塚市の悪かったところ（自由記述）

### (2) 転出者アンケート

種別	設問No.	設問内容
属性	1	性別
	2	年齢（対象者5歳区分）
	3	職業等
	4	同居の子どもの人数
	5	子どもの年代
	6	転出前の平塚市での居住地区
	7	平塚市に居住した年数
きっかけ	8	きっかけとなった方
	9	転出理由（きっかけ）
転出先 決定理由	10	転出先市町村
	11	転出先を決めた理由
Uターンの 意向	12	将来、平塚市に戻って住みたいか
	13	どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか
	14	どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか（自由記述）
評価・印象	15	平塚市に居住していたときの評価
	16	平塚市の良かったところ（自由記述）
	17	平塚市の悪かったところ（自由記述）

### (3) 市内居住地区 ※町丁名の分類は調査票参照



## 5. 結果利用上の注意

---

- (1) 結果は百分率（％）で表示し、小数第二位を四捨五入して算出しました。従って、数値の合計が100％にならない場合があります。また、端数処理の関係上、個々の選択肢の百分率の合計が100％にならない場合があります。
- (2) 回答の比率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100％を超えることがあります。
- (3) 統計表中の符号の用途は次のとおりです。  
「0.0」・・・単位未満  
「-」・・・・・・皆無又は該当数字なし

## 第2章 結果の概要



## 転入者アンケート調査結果の概要

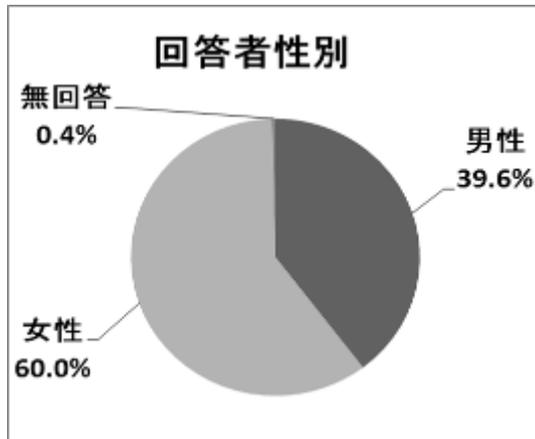


## 【1】転入者アンケート調査

### 問1 性別

回答者 280 人を男女別にみると、男性は 39.6%、女性は 60.0%、無回答は 0.4%であった。

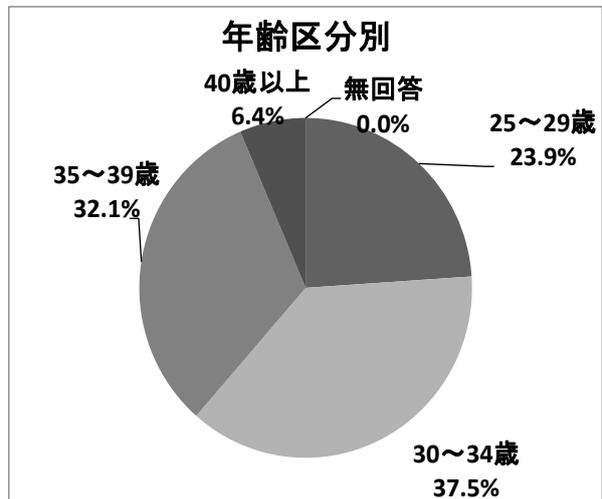
設問	選択肢	総数	割合
性別	男性	111	39.6%
	女性	168	60.0%
	無回答	1	0.4%
	計	280	100.0%



### 問2 年齢

年齢区分別にみると、「25～29歳」は 23.9%、「30～34歳」は 37.5%、「35～39歳」は 32.1%、「40歳以上」は 6.4%という結果であった。

設問	選択肢	総数	割合
年代	25～29歳	67	23.9%
	30～34歳	105	37.5%
	35～39歳	90	32.1%
	40歳以上	18	6.4%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%

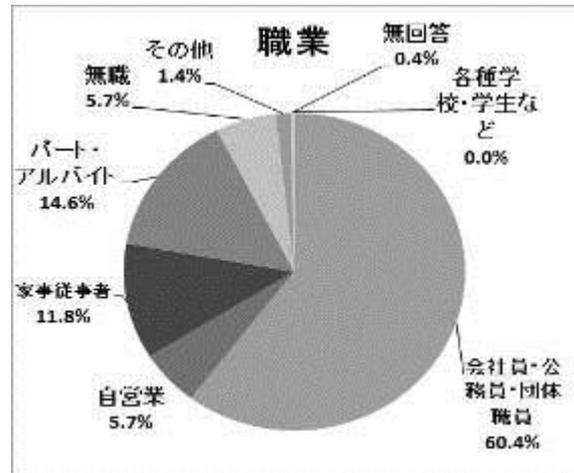


## 【1】転入者アンケート調査

### 問3 職業等

職業別にみると、「会社員・公務員・団体職員」は60.4%で最も高い割合となっている。

設問	選択肢	総数	割合
職業	各種学校・学生など	0	0.0%
	会社員・公務員・団体職員	169	60.4%
	自営業	16	5.7%
	家事従事者	33	11.8%
	パート・アルバイト	41	14.6%
	無職	16	5.7%
	その他	4	1.4%
	無回答	1	0.4%
	計	280	100.0%



### 問4 同居の子ども的人数

同居の子ども的人数について、「1人」と答えた方は26.4%、続いて、「2人」18.6%、「3人」3.2%となっており、また、「子どもはいない」と答えた方は51.8%であった。同居の子どもがいる方は合わせて48.2%となった。

設問	選択肢	総数	割合
同居の子ども的人数	1人	74	26.4%
	2人	52	18.6%
	3人	9	3.2%
	4人	0	0.0%
	5人以上	0	0.0%
	子どもはいない	145	51.8%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%

設問	選択肢	総数	割合
同居の子ども有無	子どもがいる	135	48.2%
	子どもはいない	145	51.8%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%

## 【1】転入者アンケート調査

### 問5 子どもの年代別 (※複数回答可) (N=135)

問4で子どもがいると答えた方のうち、子どもを年代別にみると、「就学前」は90.4%、「小学生」は23.7%、「中学生」は2.2%であった。調査対象の年代を25歳から39歳としたことから、就学前の子どもの割合が高い結果となったと考えられる。

設問	選択肢	総数	割合
同居の子ども(※複数回答)子どもの人数回答者が母数	就学前	122	90.4%
	小学生	32	23.7%
	中学生	3	2.2%
	高校生	2	1.5%
	専門学校・短大・大学・大学院など	1	0.7%
	既に学校教育終了	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	無回答	1	0.7%
	計(回答総数)	161	-
	回答者数(子どもがいる方)	135	

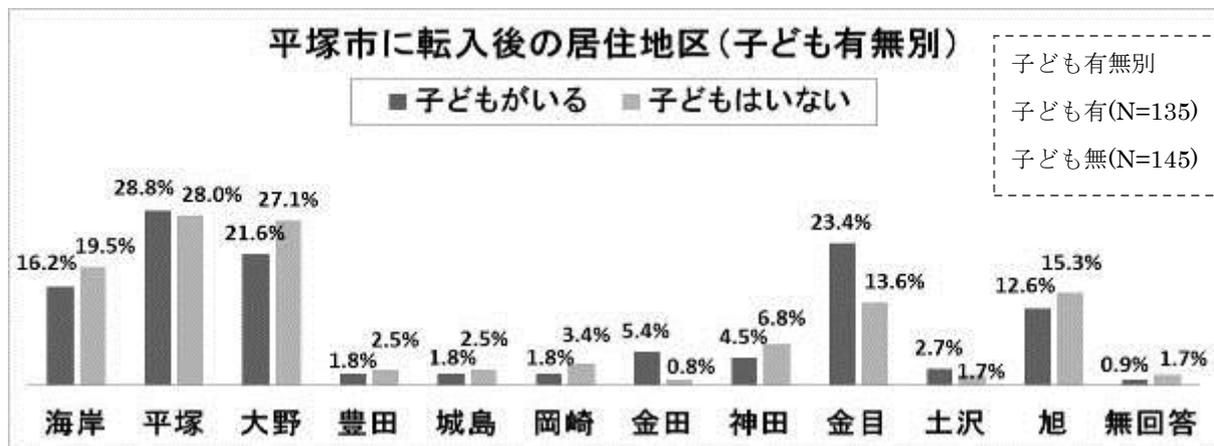
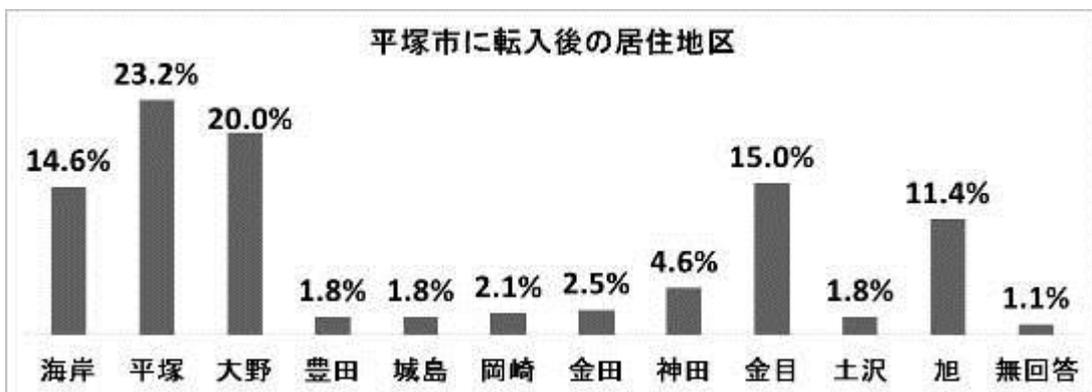
## 【1】転入者アンケート調査

### 問6 転入後の平塚市内の居住地区

平塚地区が23.2%で最も高く、大野地区20.0%、金目地区15.0%、海岸地区14.6%、旭地区11.4%と続いている。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方の地区別割合は、平塚地区で28.8%と最も高く、金目地区23.4%、大野地区21.6%と続いております、「子どもはいない」と答えた方の地区別割合は、平塚地区が28.0%で最も高く、大野地区27.1%、海岸地区19.5%と続いている。

人口割合と今回調査の割合を比較すると、平塚地区と金目地区への転入割合が高く、特に金目地区への「子どもがいる」方の転入割合が高くなっている。



(参考) H30.1.1 時点の人口の地区別比率と今回調査の転入割合(N=280)

	地区	総人口	人口割合	今回調査の転入割合
1	海岸	40,281	15.6%	14.6%
2	平塚	39,742	15.4%	23.2%
3	大野	57,955	22.4%	20.0%
4	豊田	5,323	2.1%	1.8%
5	城島	3,899	1.5%	1.8%
6	岡崎	9,184	3.6%	2.1%
7	金田	10,077	3.9%	2.5%
8	神田	23,976	9.3%	4.6%
9	金目	19,832	7.7%	15.0%
10	土沢	7,206	2.8%	1.8%
11	旭	40,906	15.8%	11.4%
	無回答			1.1%
	計	258,381	100.0%	100.0%

## 【1】転入者アンケート調査

### 問7 転入前の市区町村

転入以前に神奈川県内に住んでいた方は全体の 82.9%、東京都内に住んでいた方は全体の 15.7%であった。

市区町村別で見ると、横浜市が全体の 19.7%で最も高く、次いで、茅ヶ崎市 10.8%、藤沢市と秦野市が 7.9%、伊勢原市 7.5%、川崎市 5.7%と続いている。

#### ・都県別

都県別	人数	比率
神奈川県	232	82.9%
東京都	44	15.7%
その他	1	0.4%
無回答	3	1.1%
計	280	100.0%

#### ・市区町村別（上位抜粋）

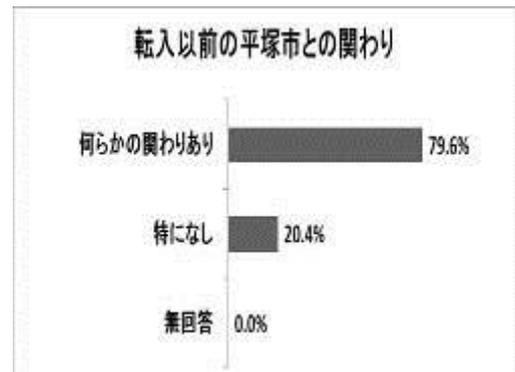
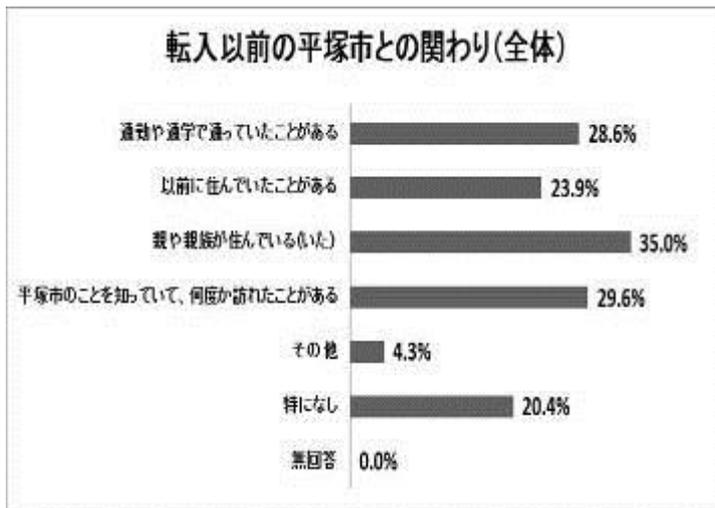
順位	市区町村	人数	比率
1	横浜市	55	19.7%
2	茅ヶ崎市	30	10.8%
3	藤沢市	22	7.9%
3	秦野市	22	7.9%
5	伊勢原市	21	7.5%
6	川崎市	16	5.7%
7	厚木市	12	4.3%
8	寒川町	11	3.9%
9	小田原市	9	3.2%
10	相模原市	7	2.5%
10	横須賀市	7	2.5%
12	海老名市	6	2.1%
12	大磯町	6	2.1%
14	大和市	4	1.4%
14	足立区	4	1.4%
16	世田谷区	3	1.1%
16	杉並区	3	1.1%
16	八王子市	3	1.1%
16	町田市	3	1.1%
16	無回答	3	1.1%

## 【1】 転入者アンケート調査

### 問8 転入前の平塚市との関わり (※複数回答可)

転入以前の本市との関わりについて、「親や親族が住んでいる(いた)」が最も高く、全体の35.0%、次いで、「平塚市のことを知っていて、何度か訪れたことがある」が29.6%、「通勤や通学で通っていたことがある」が28.6%で続いている。また、「特になし」と答えた方は20.4%であり、「特になし」と「無回答」を除いた、平塚市と何らかの関わりがあった方は全体の79.6%であった。

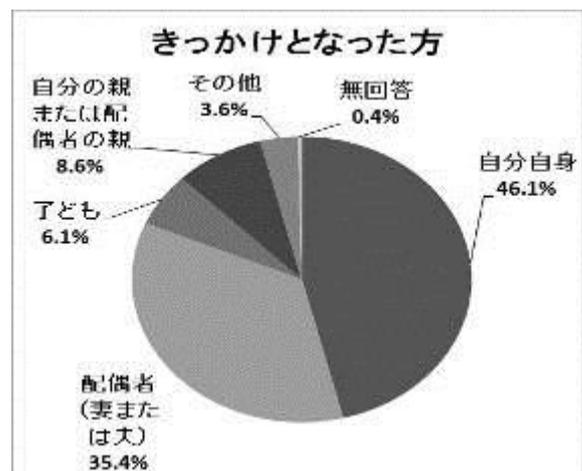
設問	選択肢	総数	割合
平塚市との関わり	通勤や通学で通っていたことがある	80	28.6%
	以前に住んでいたことがある	67	23.9%
	親や親族が住んでいる(いた)	98	35.0%
	平塚市のことを知っていて、何度か訪れたことがある	83	29.6%
	その他	12	4.3%
	特になし	57	20.4%
	無回答	0	0.0%
	計	397	-
	計(回答者数)	280	



### 問9 転入するきっかけとなった方 (回答は1つ)

本市へ転入するきっかけとなった方について、「自分自身」が最も高く46.1%、次いで、「配偶者」が35.4%であった。

設問	選択肢	総数	割合
主なきっかけの方	自分自身	129	46.1%
	配偶者(妻または夫)	99	35.4%
	子ども	17	6.1%
	自分の親または配偶者の親	24	8.6%
	その他	10	3.6%
	無回答	1	0.4%
	計	280	100.0%



## 【1】転入者アンケート調査

### 問10 転入することになったきっかけ（※複数回答可）

転入することになったきっかけは、「住宅の都合」が最も高く 35.7%、次いで、「結婚」が 25.0%、「仕事上の都合」が 22.5%で続いている。

設問	選択肢	総数	割合
転入することになったきっかけ	仕事上の都合	63	22.5%
	学校上の都合	9	3.2%
	結婚	70	25.0%
	子どもが生まれた、生まれる予定	25	8.9%
	家族の人数の変化(離婚、死別)	13	4.6%
	子育て環境を良くすること	29	10.4%
	生活環境をよくすること	28	10.0%
	通勤・通学の利便性を高めるため	42	15.0%
	健康上の理由	11	3.9%
	親や子との同居または近くに住む必要	29	10.4%
	親からの独立	6	2.1%
	住宅の都合	100	35.7%
	その他	11	3.9%
	無回答	0	0.0%
	計(回答総数)	436	-
計(回答者数)	280		



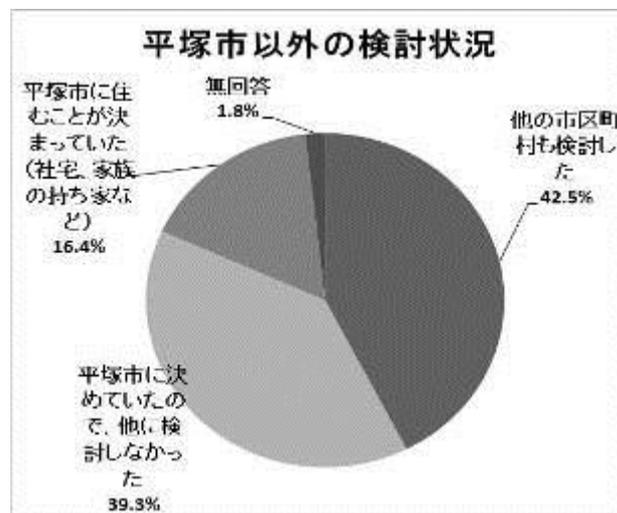
## 【1】転入者アンケート調査

### 問11 他の市区町村の検討状況（回答は1つ）

「他の市区町村も検討した」は42.5%、「平塚市に決めていたので、他に検討しなかった」は39.3%、「平塚市に住むことが決まっていた（社宅・家族の持ち家など）」は16.4%となった。

全体の約82%は平塚市を選択して転入した方、約16%はすでに平塚市内で住む場所が決まっていたことがわかる。

設問	選択肢	全体	割合
平塚市以外の検討状況	他の市区町村も検討した	119	42.5%
	平塚市に決めていたので、他に検討しなかった	110	39.3%
	平塚市に住むことが決まっていた（社宅、家族の持ち家など）	46	16.4%
	無回答	5	1.8%
	計	280	100.0%



#### ■検討した市区町村（上位12位）※複数回答可

（問11で「他の市区町村も検討した」方が回答）

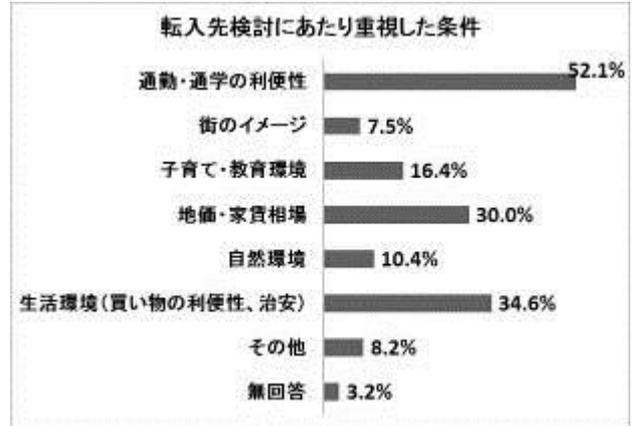
順位	市区町村	人数	割合
1	茅ヶ崎市	36	27.5%
2	藤沢市	33	25.2%
3	秦野市	21	16.0%
4	横浜市	17	13.0%
5	厚木市	13	9.9%
6	伊勢原市	11	8.4%
7	鎌倉市	7	5.3%
7	海老名市	7	5.3%
9	大磯町	6	4.6%
10	相模原市	5	3.8%
11	寒川町	4	3.1%
12	横須賀市	3	2.3%

## 【1】転入者アンケート調査

### 問12 転入先の検討にあたり重視した条件（※複数回答可）

全体でみると、「通勤・通学の利便性」は52.1%で最も高く、次いで、「生活環境（買い物の利便性、治安）」が34.6%、「地価・家賃相場」が30.0%と続いている。

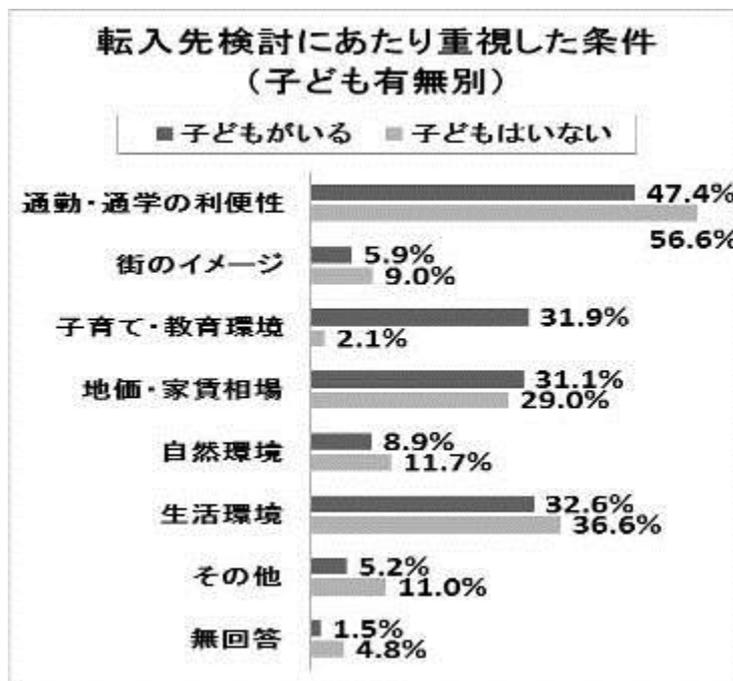
重視した条件	総数	全体
通勤・通学の利便性	146	52.1%
街のイメージ	21	7.5%
子育て・教育環境	46	16.4%
地価・家賃相場	84	30.0%
自然環境	29	10.4%
生活環境(買い物の利便性、治安)	97	34.6%
その他	23	8.2%
無回答	9	3.2%
計(回答総数)	455	-
回答者数	280	



子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方は、「通勤・通学の利便性」47.4%、「生活環境（買い物の利便性、治安）」32.6%に次いで、「子育て・教育環境」が31.9%と高い割合を示している。

「子どもはいない」方は、「通勤・通学の利便性」56.6%と特に高い割合を示している。

「子育て・教育環境」については、子どもの有無により、割合に大きな差が見られた。



子ども有(N=135)

子ども無(N=145)

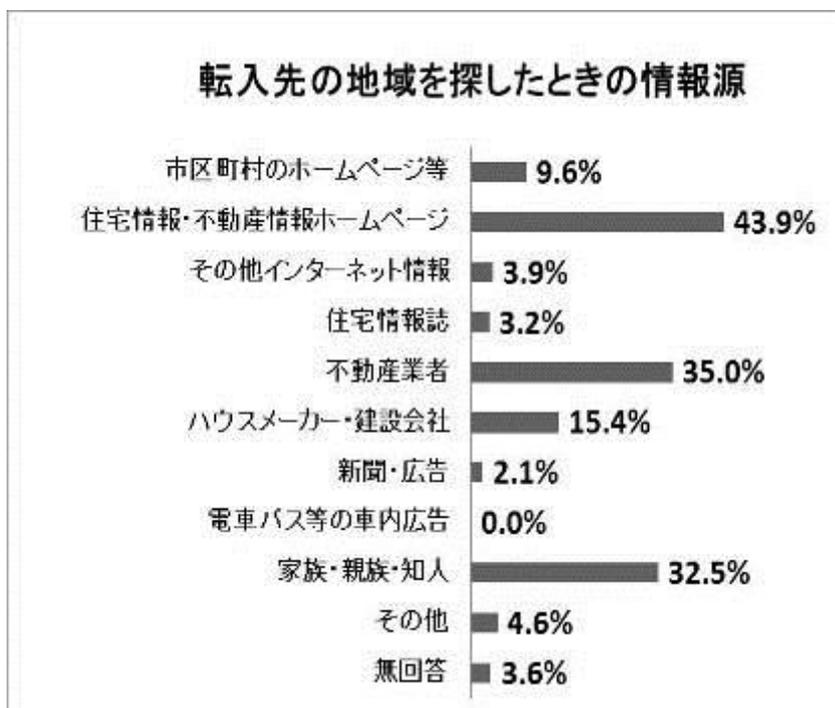
## 【1】転入者アンケート調査

### 問13 転入先の地域を探したときの情報源（※複数回答可）

転入先の地域を探したときの情報源は、「住宅情報・不動産情報ホームページ」が43.9%で最も高く、次いで、「不動産業者」が35.0%、「家族・親族・知人」が32.5%と続いている。

なお、「市区町村のホームページ等」は9.6%に留まっている。

設問	転入先の情報源	総数	割合
転入先の 情報源	市区町村のホームページ等	27	9.6%
	住宅情報・不動産情報ホームページ	123	43.9%
	その他インターネット情報	11	3.9%
	住宅情報誌	9	3.2%
	不動産業者	98	35.0%
	ハウスメーカー・建設会社	43	15.4%
	新聞・広告	6	2.1%
	電車バス等の車内広告	0	0.0%
	家族・親族・知人	91	32.5%
	その他	13	4.6%
	無回答	10	3.6%
	計	431	-
	計(回答者数)	280	

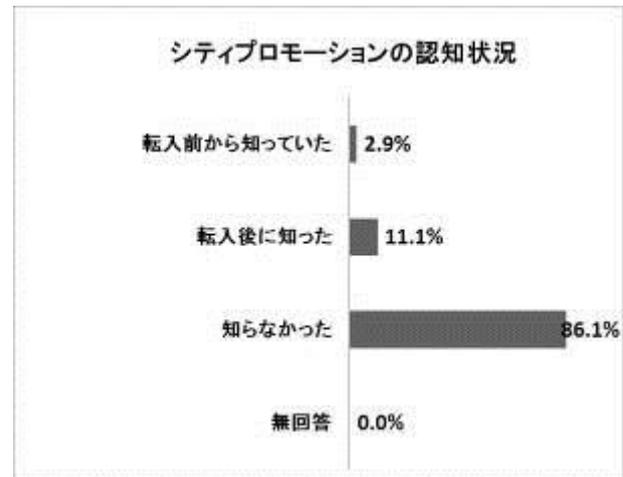


## 【1】転入者アンケート調査

### 問14 平塚市のシティプロモーション（平塚の魅力を発信する取組）の認知状況

シティプロモーションの取組については、「知らなかった」が86.1%で、「転入前から知っていた」は、2.9%に留まっている。

設問	選択肢	総数	割合
シティプロモーションの認知状況	転入前から知っていた	8	2.9%
	転入後に知った	31	11.1%
	知らなかった	241	86.1%
	無回答	0	0.0%
	計	280	100.0%



### 問15 シティプロモーションの取組は、転入先の決定にあたり、参考になったか。 (N=8 問14で「転入前から知っていた」方が回答)

シティプロモーションの取組を転入前から知っていた方の中で、「まあまあ参考になった」と答えた方は25.0%に留まっている。

設問	選択肢	総数	割合
シティプロモーションの取組は転入先の決定にあたり、参考になったか	とても参考になった	0	0.0%
	まあまあ参考になった	2	25.0%
	あまり参考にならなかった	6	75.0%
	無回答	0	0.0%
	計	8	100.0%

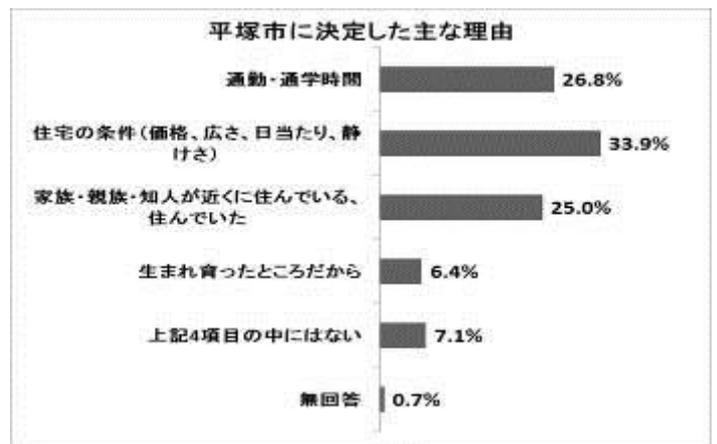
## 【1】 転入者アンケート調査

### 問16 転入先を平塚市に決めた主な理由（回答は1つ）

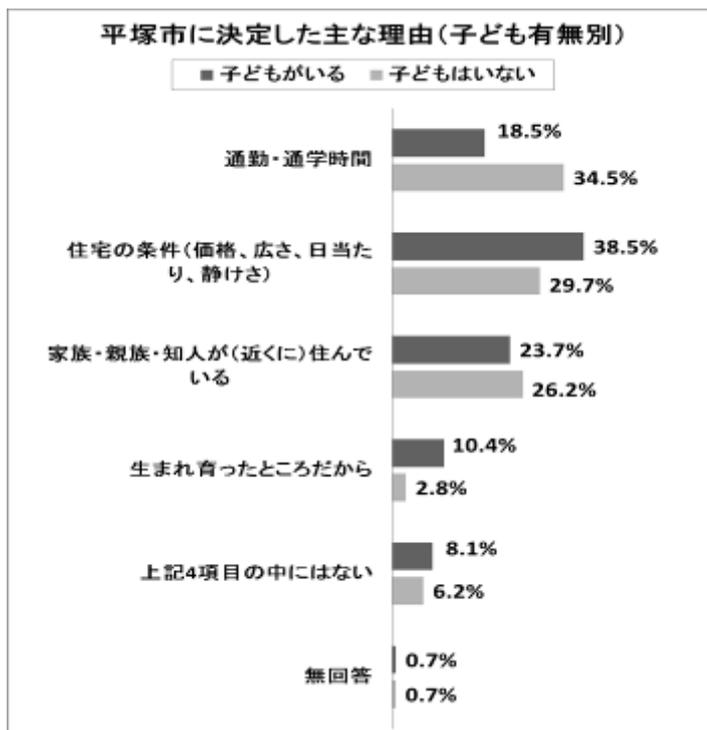
全体では「住宅の条件（価格、広さ、日当たり、静けさ）」が33.9%で最も高く、「通勤・通学時間」が26.8%、「家族・親族・知人が（近くに）住んでいる」が25.0%で続き、これら3つが高い割合を示している。

問12で、転入先の条件として重視するものとして「通勤・通学の利便性」、「地価・家賃相場」が高い割合となっていたが、決定理由としてもこれらが上位となっている。

設問	平塚市に決定した主な理由	総数	割合
決定理由	通勤・通学時間	75	26.8%
	住宅の条件(価格、広さ、日当たり、静けさ)	95	33.9%
	家族・親族・知人が近くに住んでいる、住んでいた	70	25.0%
	生まれ育ったところだから	18	6.4%
	上記4項目の中にはない	20	7.1%
	無回答	2	0.7%
	計(回答総数)	280	100.0%



「子どもがいる」方は、「住宅の条件（価格、広さ、日当たり、静けさ）」が38.5%で最も高く、「子どもはいない」方は、「通勤・通学時間」が34.5%と最も高くなっている。



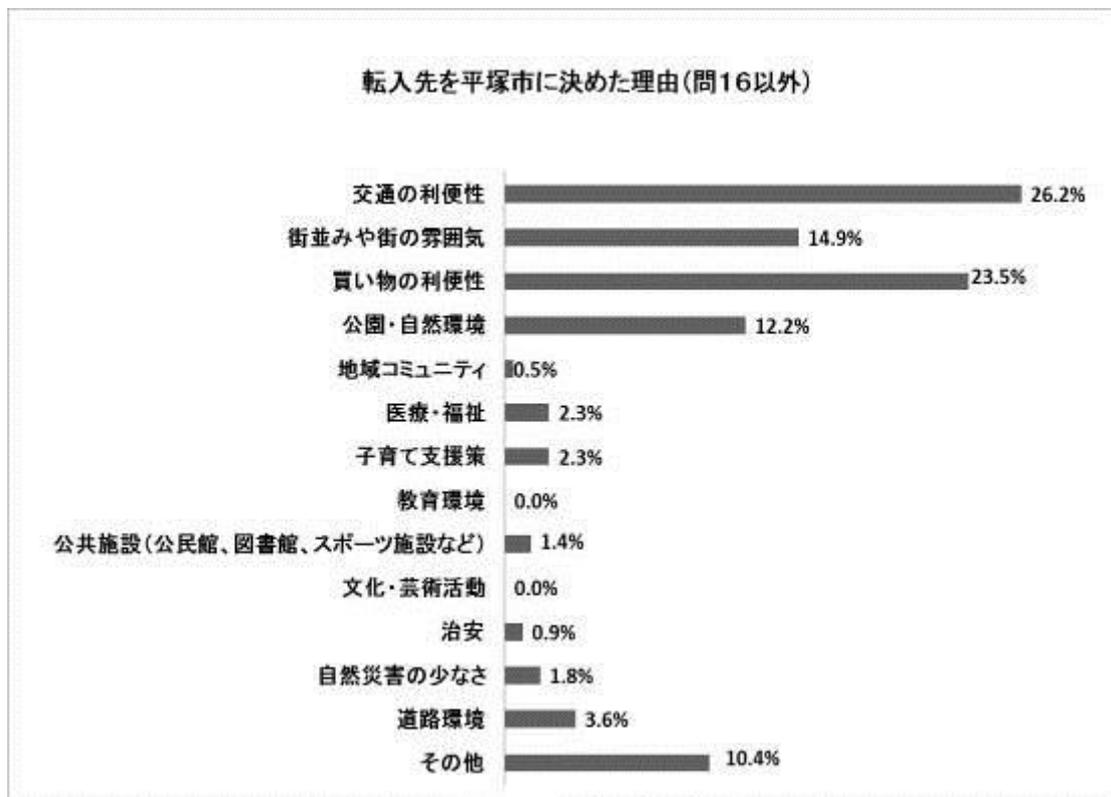
子ども有(N=135)  
子ども無(N=145)

## 【1】 転入者アンケート調査

### 問17 転入先を平塚市に決めた理由（問16以外）（回答は1つ）

転入先を本市に決めた理由（問16以外）は、「交通の利便性」が26.2%で最も高く、次に「買い物の利便性」が23.5%、「街並みや街の雰囲気」が14.9%、「公園・自然環境」が12.2%で続いている。

設問	平塚市に決定した理由	総数	割合
転入先を平塚市に決めた理由(問16以外)	交通の利便性	58	26.2%
	街並みや街の雰囲気	33	14.9%
	買い物の利便性	52	23.5%
	公園・自然環境	27	12.2%
	地域コミュニティ	1	0.5%
	医療・福祉	5	2.3%
	子育て支援策	5	2.3%
	教育環境	0	0.0%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設など)	3	1.4%
	文化・芸術活動	0	0.0%
	治安	2	0.9%
	自然災害の少なさ	4	1.8%
	道路環境	8	3.6%
	その他	23	10.4%
	計	221	100.0%



## 【1】転入者アンケート調査

### 問18 転入先を平塚市に決めた具体的な理由（自由記述） ※主なものの抜粋

#### ■「交通の利便性」と答えた方の主な理由

- ・都内や横浜まで電車一本で通うことができる。
- ・始発電車があるため、座って通勤できる。
- ・高速道路のインターチェンジが近いので、通勤等に便利
- ・バスの本数が多い。

#### ■「買い物の利便性」と答えた方の主な理由

- ・大型商業施設が複数あり、スーパー等もたくさんあるので、近場（市内）で全ての物がそろおう。

#### ■「街並みや街の雰囲気」と答えた方の主な理由

- ・街全体がのんびりとした雰囲気で、家族でゆったり生活できる環境があると感じた。
- ・静かで暮らしやすい。
- ・特に海岸地区の街並みや雰囲気が良かった。

#### ■「公園・自然環境」と答えた方の主な理由

- ・総合公園をはじめ、公園が充実しているので、子育てしやすい。
- ・海、山、川など自然が豊かで伸び伸びと子育てできる。

## 【1】転入者アンケート調査

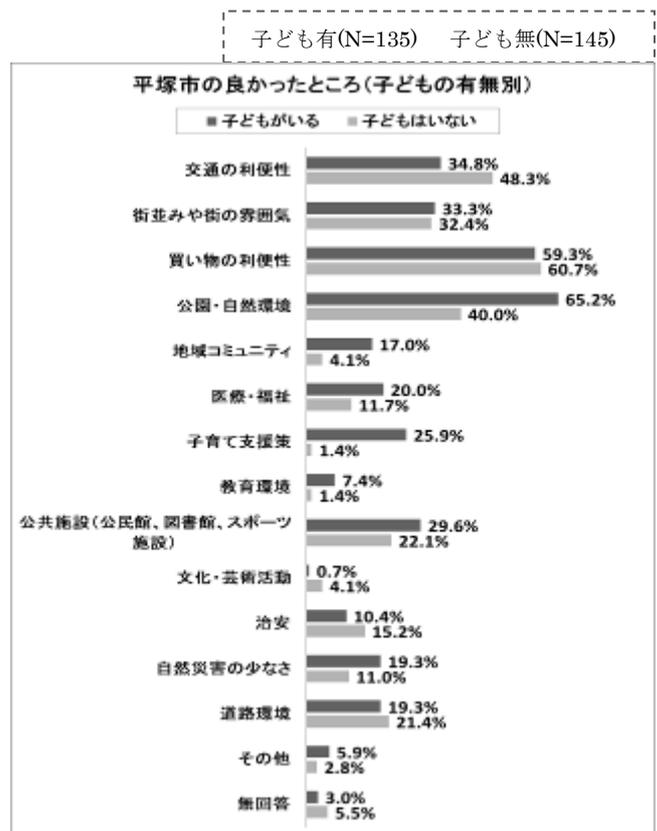
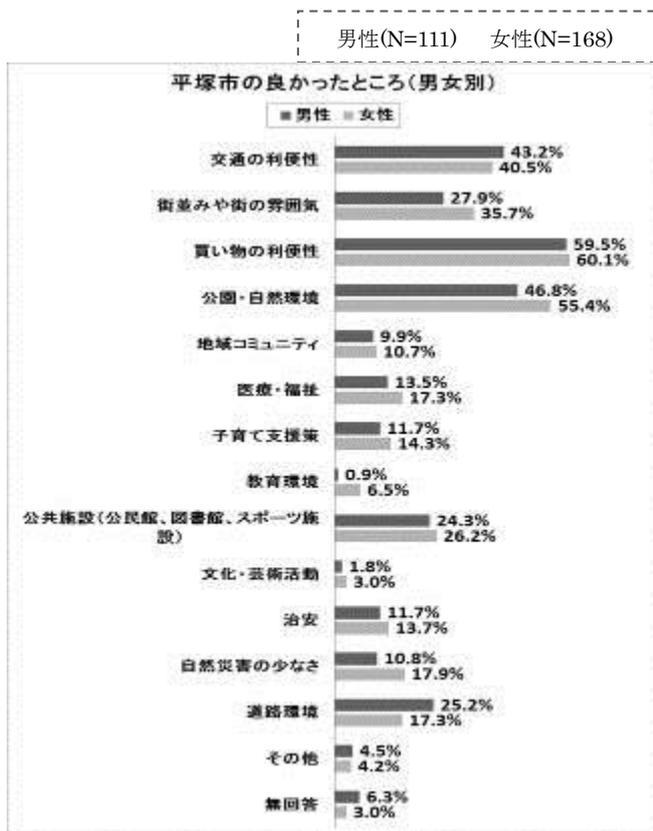
### 問19 平塚市に住んでみて良かったところ (※複数回答可)

全体でみると、「買い物の利便性」が60.0%で最も高く、次いで、「公園・自然環境」52.1%、「交通の利便性」41.8%、「街並みや街の雰囲気」32.9%と続いている。

設問	良かったところ	総数	割合
良かったところ	交通の利便性	117	41.8%
	街並みや街の雰囲気	92	32.9%
	買い物の利便性	168	60.0%
	公園・自然環境	146	52.1%
	地域コミュニティ	29	10.4%
	医療・福祉	44	15.7%
	子育て支援策	37	13.2%
	教育環境	12	4.3%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	72	25.7%
	文化・芸術活動	7	2.5%
	治安	36	12.9%
	自然災害の少なさ	42	15.0%
	道路環境	57	20.4%
	その他	12	4.3%
	無回答	12	4.3%
	計	883	-
	計(回答者数)	280	



「買い物の利便性」については、男女別、子ども有無別のいずれにおいても高い割合を示している。また、「公園・自然環境」については、「女性」と「子どもがいる」方の割合が特に高くなっている。

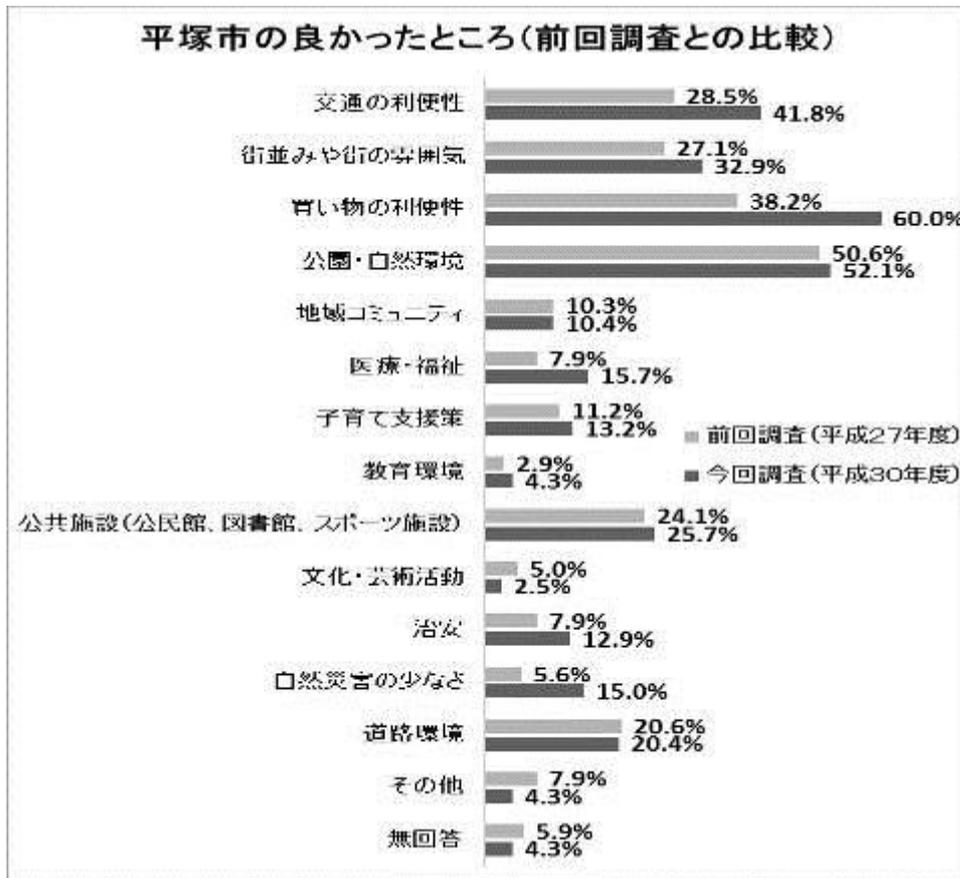


## 【1】転入者アンケート調査

### ■平塚市に住んでみて良かったところの前回調査との比較

平成27年度の前回調査と比較すると、「交通の利便性」と「買い物の利便性」の割合が大きく増加し、「買い物の利便性」は今回調査で最も高い割合となっている。

また、「公園・自然環境」も前回調査同様、50%を超えており、高い割合となっている。



平塚市に住んでみて良かったところ(複数回答可)の総数は、前回調査より増加し、一人当たり3個を超える結果となった。

	総数(無回答除く)	回答者数	一人あたり平均
平成27年度	843	340	2.5
平成30年度	871	280	3.1

## 【1】転入者アンケート調査

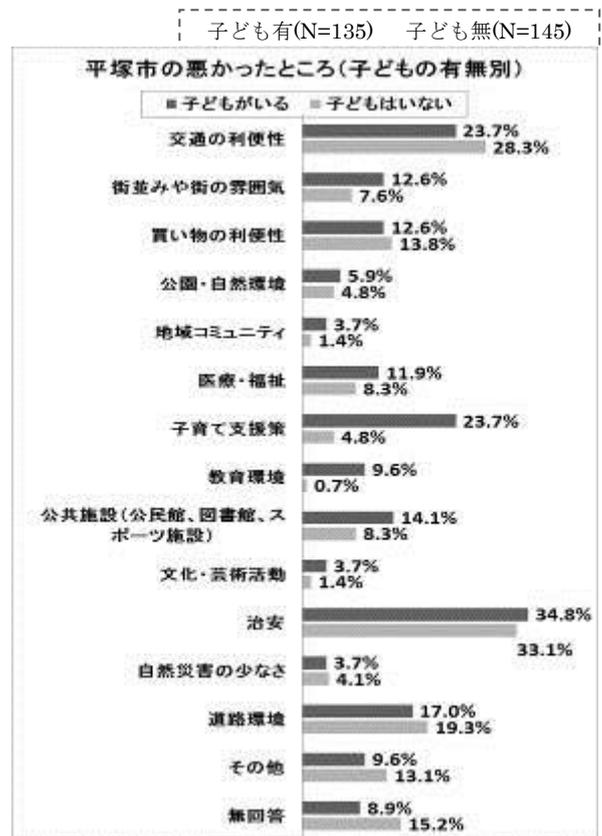
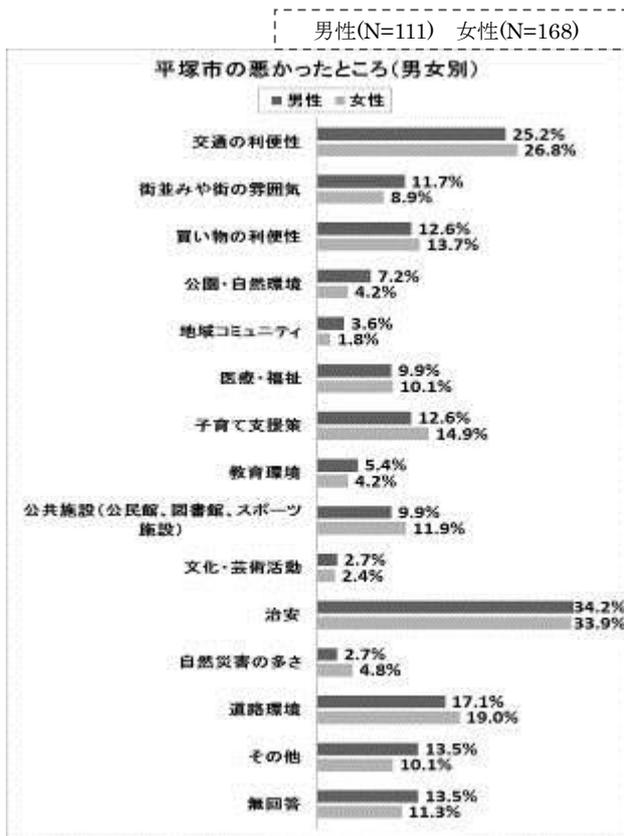
### 問19 平塚市に住んでみて悪かったところ (※複数回答可)

全体でみると「治安」が33.9%で最も高く、次いで、「交通の利便性」26.1%、「道路環境」18.2%と続いている。

設問	印象(悪かったところ)	総数	割合
悪かったところ	交通の利便性	73	26.1%
	街並みや街の雰囲気	28	10.0%
	買い物の利便性	37	13.2%
	公園・自然環境	15	5.4%
	地域コミュニティ	7	2.5%
	医療・福祉	28	10.0%
	子育て支援策	39	13.9%
	教育環境	14	5.0%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	31	11.1%
	文化・芸術活動	7	2.5%
	治安	95	33.9%
	自然災害の多さ	11	3.9%
	道路環境	51	18.2%
	その他	32	11.4%
	無回答	34	12.1%
計	502	-	
	計(回答者数)	280	



「治安」は、男女別、子どもの有無別のいずれにおいても高い割合を示している。また、「子育て支援策」と「教育環境」は、子どもの有無で割合に大きな差が出ていることが分かる。

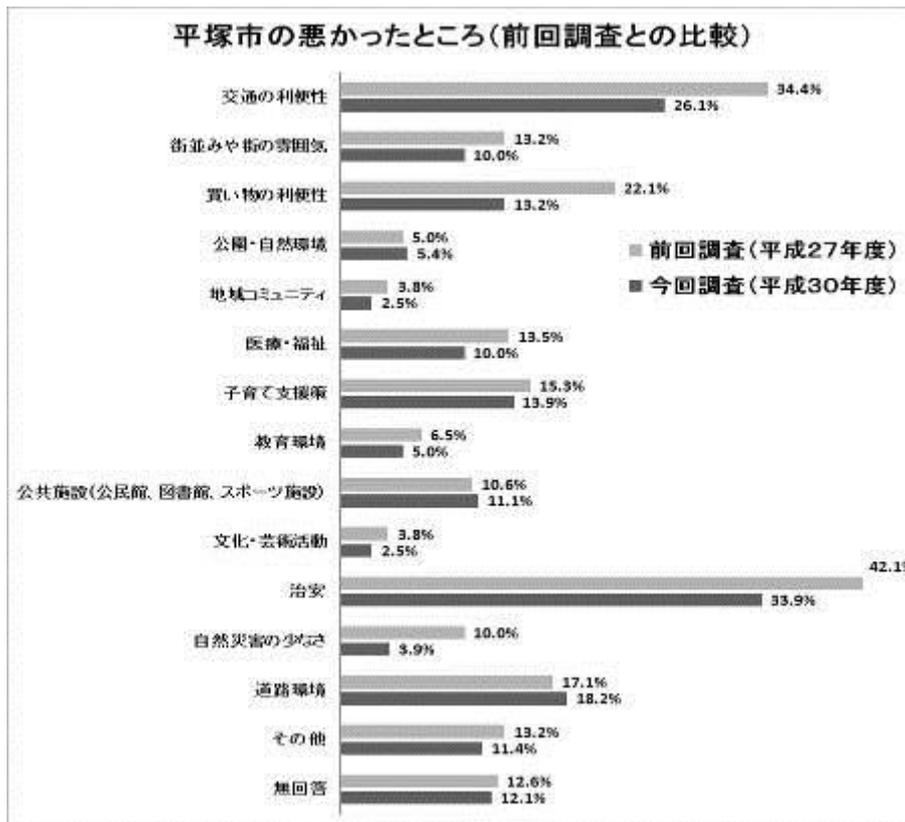


## 【1】転入者アンケート調査

### ■平塚市に住んでみて悪かったところの前回調査との比較

平成27年度の前回調査と比較すると、最も割合の高かった「治安」と次に割合の高かった「交通の利便性」の順番は変わらないが、割合は大きく減少している。

また、前回調査で3番目に割合の高かった「買い物の利便性」も割合が大きく減少しており、今回調査では5番目に高い割合になっている。



平塚市に住んでみて悪かったところ（複数回答可）の総数は、前回調査より減少し、1人当たり 2.1個から、1.7個になった。

	総数(無回答除く)	回答者数	一人あたり平均
平成27年度	716	340	2.1
平成30年度	468	280	1.7

## 【1】転入者アンケート調査

### 問20 平塚市の良かったところ (自由記述) ※主なもの抜粋

- 「買い物の利便性」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 大型商業施設が複数あり、スーパー等がたくさんあるので、近場（市内）で全ての物がそろおう。
- 「公園・自然環境」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 総合公園をはじめ、公園が充実しているので、のびのびと子育てできる。
  - ・ 海、山、川など自然が豊かである。
- 「交通の利便性」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 都内や横浜まで電車1本で通うことができる。
  - ・ 始発電車があるため、座って通勤できる。
  - ・ 高速道路のインターチェンジが近いため、通勤に便利である。
- 「街並みや街の雰囲気」が良いと答えた方の主な理由
  - ・ 街の雰囲気がゆったりしていて、人が温かい。
  - ・ 特に真田地区は街並みがきれいで、若い世代も多く活気がある。

### 問21 平塚市の悪かったところ (自由記述) ※主なもの抜粋

- 「治安」が悪いと答えた方の主な理由
  - ・ 駅周辺の治安
  - ・ 自転車等の盗難にあった。
  - ・ 街路灯が少なく、暗い道路がある。
- 「交通の利便性」が悪いと答えた方の主な理由
  - ・ バスの本数が少ない。
  - ・ 東海大学前駅（真田方面）から平塚駅のバスがない。
  - ・ 鉄道の駅が平塚駅しかない。
- 「道路環境」が悪いと答えた方の主な理由
  - ・ 交通量が多いのに、歩道が整備されていない道路がある。
  - ・ いつも渋滞している道路がある。



## 転出者アンケート調査結果の概要

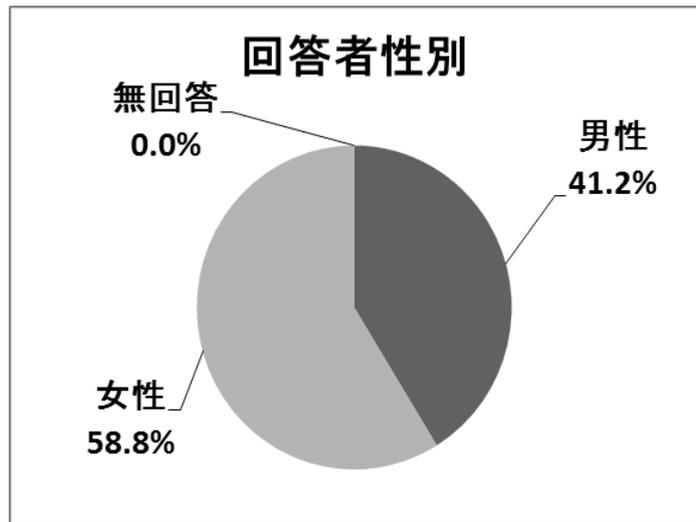


## 【2】 転出者アンケート調査

### 問1 性別

回答者 245 人を、男女別にみると、男性は 41.2%、女性は 58.8%、無回答は 0.0%であった。

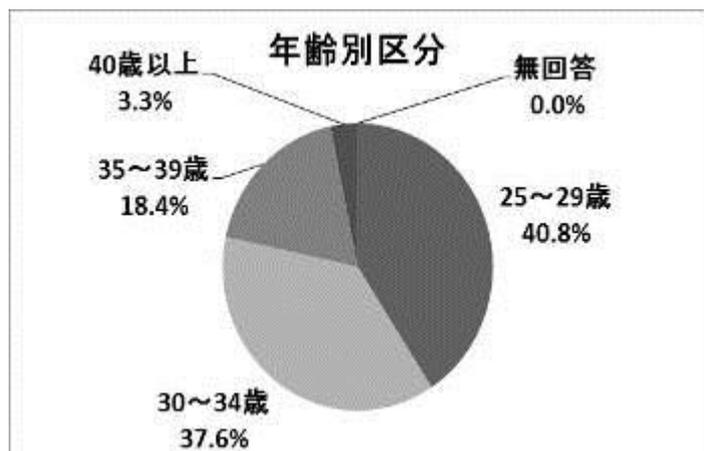
設問	選択肢	総数	割合
性別	男性	101	41.2%
	女性	144	58.8%
	無回答	0	0.0%
	計	245	100.0%



### 問2 年齢

回答者を年齢区分別でみると、「25～29歳」は 40.8%、「30～34歳」は 37.6%、「35～39歳」は 18.4%、「40歳以上」は 3.3%であった。

設問	選択肢	総数	割合
年代	25～29歳	100	40.8%
	30～34歳	92	37.6%
	35～39歳	45	18.4%
	40歳以上	8	3.3%
	無回答	0	0.0%
	計	245	100.0%

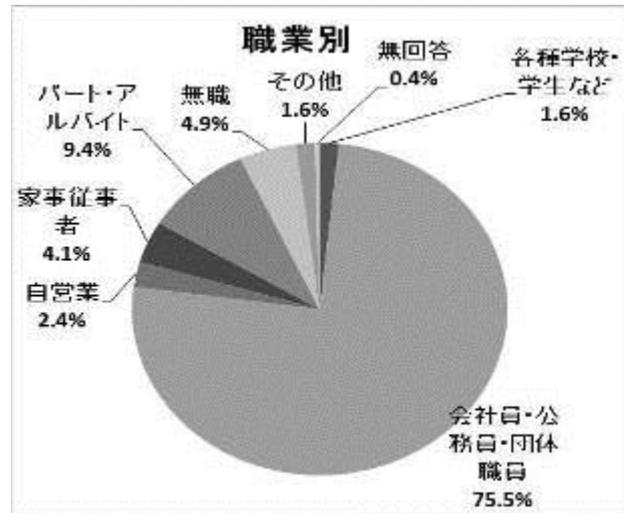


## 【2】 転出者アンケート調査

### 問3 職業等

職業別にみると、「会社員・公務員・団体職員」は75.5%で最も高い割合となっている。

設問	選択肢	総数	割合
職業	各種学校・学生など	4	1.6%
	会社員・公務員・団体職員	185	75.5%
	自営業	6	2.4%
	家事従事者	10	4.1%
	パート・アルバイト	23	9.4%
	無職	12	4.9%
	その他	4	1.6%
	無回答	1	0.4%
	計	245	100.0%



### 問4 同居の子ども的人数

同居の子ども的人数別にみると、「1人」と答えた方は24.1%、次いで、「2人」7.8%、「3人」0.4%、「4人」0.4%となっている。また、「子どもはいない」と答えた方は67.3%であった。

同居の子どもがいる方は合わせて32.7%であった。

設問	選択肢	総数	割合
同居の子ども的人数	1人	59	24.1%
	2人	19	7.8%
	3人	1	0.4%
	4人	1	0.4%
	5人以上	0	0.0%
	子どもはいない	165	67.3%
	無回答	0	0.0%
	計	245	100.0%

設問	選択肢	総数	割合
同居の子ども有無	子どもがいる	80	32.7%
	子どもはいない	165	67.3%
	無回答	0	0.0%
	計	245	100.0%

## 【2】 転出者アンケート調査

### 問5 子どもの年代別 (※複数回答可)

問4で子どもがいると答えた方のうち、子どもを年代別にみると、「就学前」は91.3%、「小学生」は10.0%、「中学生」は1.3%であった。調査対象の年代を25歳から39歳としたことから、就学前の子どもの割合が高い結果となったと考えられる。

設問	選択肢	総数	割合
同居の子ども(※複数回答)子どもの人数回答者が母数	就学前	73	91.3%
	小学生	8	10.0%
	中学生	1	1.3%
	高校生	0	0.0%
	専門学校・短大・大学・大学院など	1	1.3%
	既に学校教育終了	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	無回答	1	1.3%
	計(回答総数)	84	-
	回答者数(子どもがいる方)	80	

### 問6 転出前の平塚市の居住地区

平塚地区が22.0%で最も高く、次いで、海岸地区20.0%、大野地区19.6%、旭地区14.3%と続いている。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方の地区別割合は、海岸地区で23.8%と最も高く、次いで、平塚地区18.8%、大野地区16.3%と続いております、「子どもはいない」方の地区別割合は、平塚地区が23.6%で最も高く、次いで、大野地区21.2%、海岸地区18.2%と続いている。

設問	選択肢	総数	割合
転出前居住地区	海岸	49	20.0%
	平塚	54	22.0%
	大野	48	19.6%
	豊田	5	2.0%
	城島	4	1.6%
	岡崎	6	2.4%
	金田	7	2.9%
	神田	13	5.3%
	金目	14	5.7%
	土沢	7	2.9%
	旭	35	14.3%
	無回答	3	1.2%
	計	245	100.0%

子ども有(N=80) 子ども無(N=165)



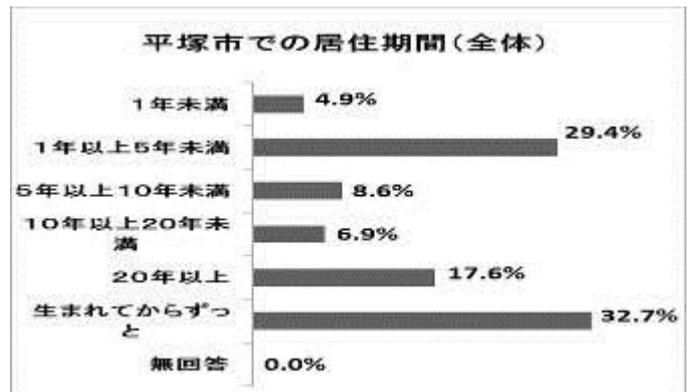
## 【2】転出者アンケート調査

### 問7 転出までの平塚市での居住期間

「生まれてからずっと」が32.7%で最も高く、次いで、「1年以上5年未満」が29.4%、「20年以上」が17.6%で続いている。

また、10年以上居住している方が全体の57.2%、5年未満で転出となった方は全体の34.3%であった。

設問	選択肢	総数	割合
居住年数	1年未満	12	4.9%
	1年以上5年未満	72	29.4%
	5年以上10年未満	21	8.6%
	10年以上20年未満	17	6.9%
	20年以上	43	17.6%
	生まれてからずっと	80	32.7%
	無回答	0	0.0%
	計	245	100.0%



男女別にみると、女性で「生まれてからずっと」と答えた方は36.8%で、男性26.7%よりも高い割合であった。

子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方は、10年未満の居住が42.9%で、「生まれてからずっと」、「20年以上」をあわせた平塚市に長く居住した方の割合は50.3%であった。

「子どもはいない」方は、10年未満の居住が34.5%であり、「生まれてからずっと」、「20年以上」をあわせた平塚市に長く居住した人の割合は57.0%と高い割合を示している。

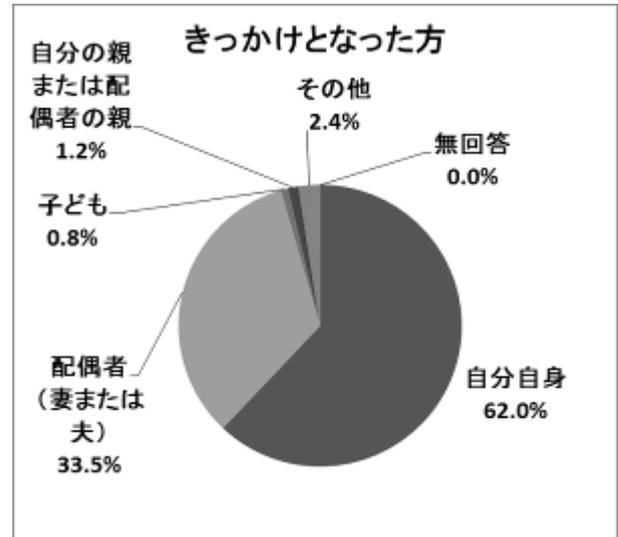


## 【2】転出者アンケート調査

### 問8 転出するきっかけとなった方（回答は1つ）

他市区町村へ転出するきっかけとなった方について、「自分自身」が最も高く 62.0%、次いで配偶者が 33.5%であった。

設問	選択肢	全体	割合
主なきっかけの方	自分自身	152	62.0%
	配偶者(妻または夫)	82	33.5%
	子ども	2	0.8%
	自分の親または配偶者の親	3	1.2%
	その他	6	2.4%
	無回答	0	0.0%
	計	245	100.0%



### 問9 転出することになったきっかけ（※複数回答可）

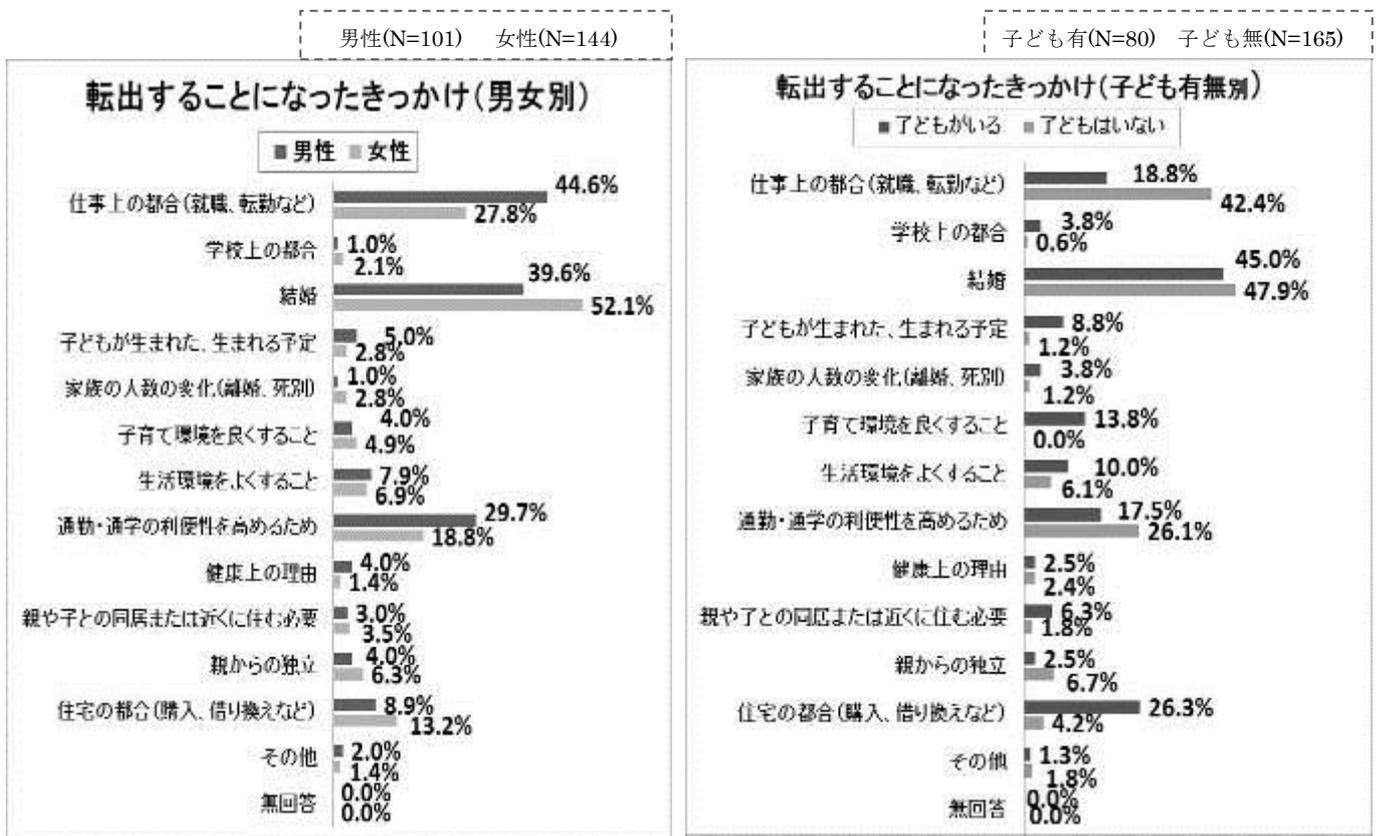
転出することになったきっかけは、「結婚」が最も高く 46.9%、次いで、「仕事上の都合（就職、転勤など）」が 34.7%、「通勤・通学の利便性を高めるため」が 23.3%、「住宅の都合（購入、借り換えなど）」が 11.4%で続いている。

設問	選択肢	総数	割合
転出することになったきっかけ	仕事上の都合(就職、転勤など)	85	34.7%
	学校上の都合	4	1.6%
	結婚	115	46.9%
	子どもが生まれた、生まれる予定	9	3.7%
	家族の人数の変化(離婚、死別)	5	2.0%
	子育て環境を良くすること	11	4.5%
	生活環境を良くすること	18	7.3%
	通勤・通学の利便性を高めるため	57	23.3%
	健康上の理由	6	2.4%
	親や子との同居または近くに住む必要	8	3.3%
	親からの独立	13	5.3%
	住宅の都合(購入、借り換えなど)	28	11.4%
	その他	4	1.6%
	無回答	0	0.0%
	計(回答総数)	363	-
回答者数	245		



## 【2】転出者アンケート調査

- ・男女別にみると、男性は、「仕事上の都合」が最も高く 44.6%、次いで、「結婚」39.6%、「通勤通学の利便性を高めるため」29.7%と続いている。
- ・女性は、「結婚」が最も高く 52.1%、次いで、「仕事上の都合（就職、転勤など）」27.8%、「通勤・通学の利便性を高めるため」18.8%と続いている。
- ・子どもの有無別でみると、「子どもがいる」方は、「結婚」が 45.0%で最も高く、次いで、「住宅の都合（購入、借り換えなど）」26.3%、「仕事上の都合（就職、転勤など）」18.8%と続いている。
- ・「子どもはいない」方も、「結婚」が 47.9%で最も高く、次いで、「仕事上の都合（就職、転勤など）」42.4%、「通勤・通学の利便性を高めるため」26.1%と続いている。



## 【2】転出者アンケート調査

### 問10 転出先の市区町村

神奈川県内への転出が全体の76.3%、東京都内への転出は全体の21.6%であった。

市区町村別で見ると、横浜市が20.4%で最も高く、次いで、藤沢市と茅ヶ崎市が7.8%、川崎市7.3%、伊勢原市6.5%、秦野市5.3%と続いている。

#### ・ 都県別

転出後の住所地	総数	割合
神奈川県	187	76.3%
東京都	53	21.6%
無回答	3	1.2%
その他	2	0.8%
計(回答数)	245	

#### ・ 市区町村別（上位抜粋）

順位	市区町村	人数	割合
1	横浜市	50	20.4%
2	藤沢市	19	7.8%
2	茅ヶ崎市	19	7.8%
4	川崎市	18	7.3%
5	伊勢原市	16	6.5%
6	秦野市	13	5.3%
7	世田谷区	8	3.3%
8	相模原市	7	2.9%
8	大磯町	7	2.9%
10	品川区	6	2.4%
11	小田原市	5	2.0%
11	厚木市	5	2.0%
11	海老名市	5	2.0%
14	鎌倉市	4	1.6%
14	二宮町	4	1.6%
14	大田区	4	1.6%
17	横須賀市	3	1.2%
17	大和市	3	1.2%
17	綾瀬市	3	1.2%
17	寒川町	3	1.2%
17	無回答	3	1.2%

## 【2】転出者アンケート調査

### 問 1 1 転出先の市区町村を決めた理由（※複数回答可）

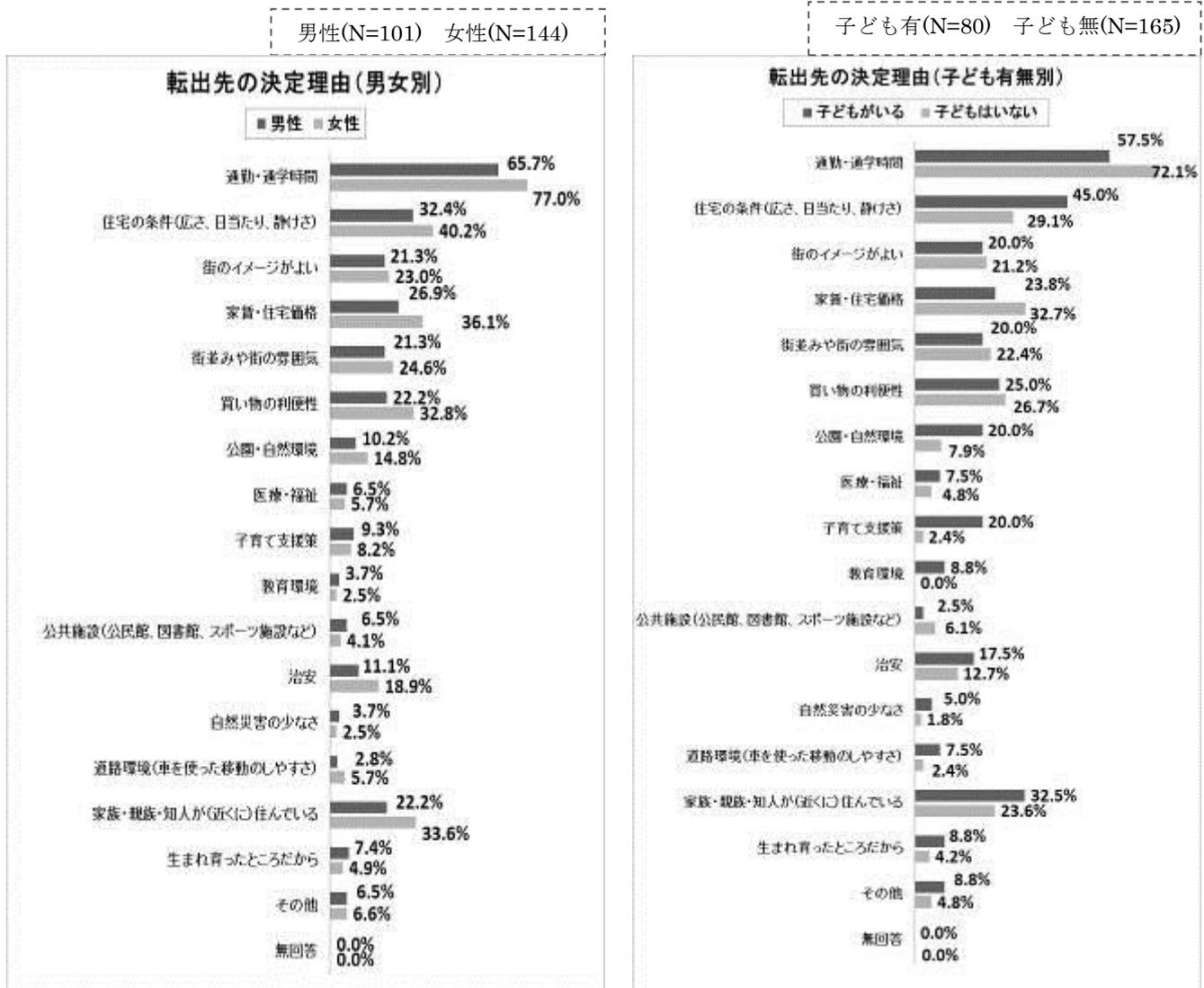
全体でみると、「通勤・通学時間」が67.3%で最も高く、次いで、「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」34.3%、「家賃・住宅価格」29.8%、「家族・親族・知人が（近くに）住んでいる」26.5%、「買い物の利便性」26.1%と続いている。

設問	選択肢	総数	割合
決定理由	通勤・通学時間	165	67.3%
	住宅の条件(広さ、日当たり、静けさ)	84	34.3%
	街のイメージがよい	51	20.8%
	家賃・住宅価格	73	29.8%
	街並みや街の雰囲気	53	21.6%
	買い物の利便性	64	26.1%
	公園・自然環境	29	11.8%
	医療・福祉	14	5.7%
	子育て支援策	20	8.2%
	教育環境	7	2.9%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設など)	12	4.9%
	治安	35	14.3%
	自然災害の少なさ	7	2.9%
	道路環境(車を使った移動のしやすさ)	10	4.1%
	家族・親族・知人が(近くに)住んでいる	65	26.5%
	生まれ育ったところだから	14	5.7%
	その他	15	6.1%
	無回答	0	0.0%
	計(回答総数)	718	293.1%
	回答者数	245	



## 【2】転出者アンケート調査

- ・ 男女別で見ると、「家族・親族・知人が（近くに）住んでいる」が男女の割合の差が最も大きく、女性の割合が11.4ポイント高くなっている。
- ・ 子どもの有無別で見ると、「子育て支援策」や「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）」、「公園・自然環境」が子どもの有無による差が大きく、「子どもがいる」方の割合が高くなっている。また、「通勤・通学時間」も子どもの有無による差が大きく、「子どもはいない」方の割合が高くなっている。

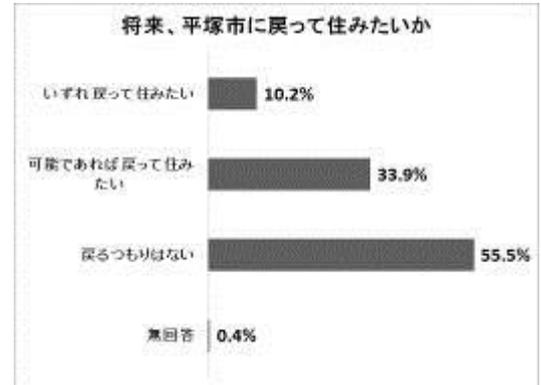


## 【2】転出者アンケート調査

### 問12 将来、平塚市に戻って住みたいか

「いずれ戻って住みたい」と「可能であれば戻って住みたい」と答えたUターン意向のある方は、44.1%となっている。

設問	選択肢	総数	割合
将来、平塚市に戻って住みたいか	いずれ戻って住みたい	25	10.2%
	可能であれば戻って住みたい	83	33.9%
	戻るつもりはない	136	55.5%
	無回答	1	0.4%
	計	245	100.0%



### 問13 どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか

(N=108 問12で「いずれ戻って住みたい」「可能であれば戻って住みたい」方が回答)

設問	選択肢	総数	割合
どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか	平塚市の近くに就職・転勤・転職できたら	43	39.8%
	子どもが就学・進学したら	2	1.9%
	結婚したら	2	1.9%
	親との同居、または近くに住むことになったら	28	25.9%
	親との同居、または近くに住む必要がなくなったら	5	4.6%
	希望に合う住宅が見つかったら	20	18.5%
	その他(問14 自由記述)	7	6.5%
	無回答	1	0.9%
	計	108	100.0%



### 問14 どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいか (問13以外 自由記述)

#### ■主な理由

- ・ 定年退職後に平塚市に戻って住みたい。
- ・ 子どもが産まれたら平塚市に住んで、子育てしたい。
- ・ 他の市町村の子育て支援策と比較して、メリットが感じられれば
- ・ 小田急線方面へのアクセスが良くなったら
- ・ 夫が通勤時間が長くなることを了承してくれたら
- ・ 治安が良くなったら
- ・ 教育の質の向上、いじめがなくなる等、教育環境が良くなったら

## 【2】転出者アンケート調査

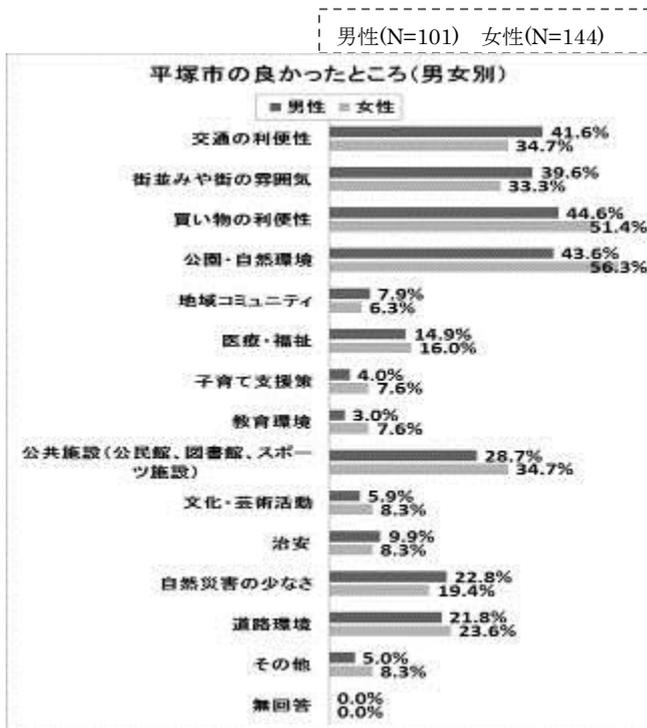
### 問15 平塚市に住んでいて良かったところ (※複数回答可)

全体でみると「公園・自然環境」が51.0%で最も高く、次いで、「買い物の利便性」48.6%、「交通の利便性」37.6%、「街並みや街の雰囲気」35.9%、「公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など）」32.2%と続いている。

設問	良かったところ	総数	割合
良かったところ	交通の利便性	92	37.6%
	街並みや街の雰囲気	88	35.9%
	買い物の利便性	119	48.6%
	公園・自然環境	125	51.0%
	地域コミュニティ	17	6.9%
	医療・福祉	38	15.5%
	子育て支援策	15	6.1%
	教育環境	14	5.7%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	79	32.2%
	文化・芸術活動	18	7.3%
	治安	22	9.0%
	自然災害の少なさ	51	20.8%
	道路環境	56	22.9%
	その他	17	6.9%
	無回答	0	0.0%
	計	751	-
	計(回答者数)	245	



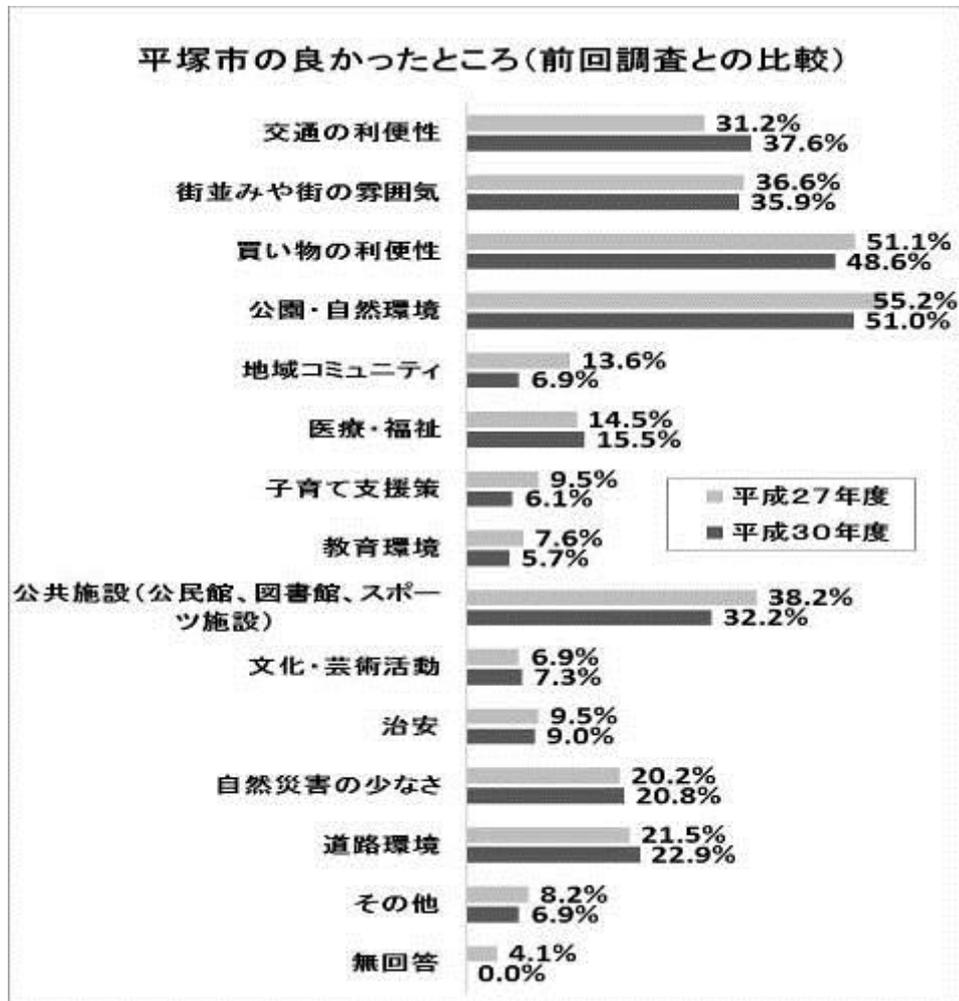
- ・男女別にみると、女性は「公園・自然環境」の割合が最も高くなっているが、男性は「買い物の利便性」の割合が最も高くなっている。
- ・子どもの有無別にみると、「交通の利便性」、「買い物の利便性」、「公園・自然環境」、「子育て支援策」が子どもの有無による差が大きく、「子どもがいる」方の割合が高くなっている。



## 【2】 転出者アンケート調査

### ■平塚市に住んでいて良かったところの前回調査との比較

平成27年度の前回調査と比較すると、傾向は大きく変わらないが、「交通の利便性」の割合が6.4ポイント増加している一方、「地域コミュニティ」の割合が6.7ポイント減少している。



平塚市に住んでいて良かったところ(複数回答可)の総数は、前回調査より減少し、1人当たり3.2個から、3.1個になった。

	総数(無回答除く)	回答者数	一人あたり平均
平成27年度	1026	317	3.2
平成30年度	751	245	3.1

## 2】転出者アンケート調査

### 問15 平塚市に住んでいて悪かったところ (※複数回答可)

全体でみると「治安」が54.3%で最も高く、次いで、「交通の利便性」42.9%、「街並みや街の雰囲気」18.4%、「買い物の利便性」14.7%と続いている。

設問	悪かったところ	総数	割合
悪かったところ	交通の利便性	105	42.9%
	街並みや街の雰囲気	45	18.4%
	買い物の利便性	36	14.7%
	公園・自然環境	17	6.9%
	地域コミュニティ	19	7.8%
	医療・福祉	11	4.5%
	子育て支援策	21	8.6%
	教育環境	24	9.8%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	16	6.5%
	文化・芸術活動	7	2.9%
	治安	133	54.3%
	自然災害の多さ	23	9.4%
	道路環境	23	9.4%
	その他	12	4.9%
	無回答	0	0.0%
計	492	-	
	計(回答者数)	245	



- ・男女別にみると、「治安」と「自然災害の多さ」を選択した割合は、男女差が最も大きくなっており、女性の方が男性よりも、安心安全に不安を感じていることがわかる。
- ・子どもの有無別では、「子どもがいる」方は、「治安」が悪いと63.8%が感じており他の選択肢と比べて非常に高い割合となっている。「子どもはいない」方は、「交通の利便性」と「治安」が49.7%と高い割合になっている。

男性(N=101) 女性(N=144)



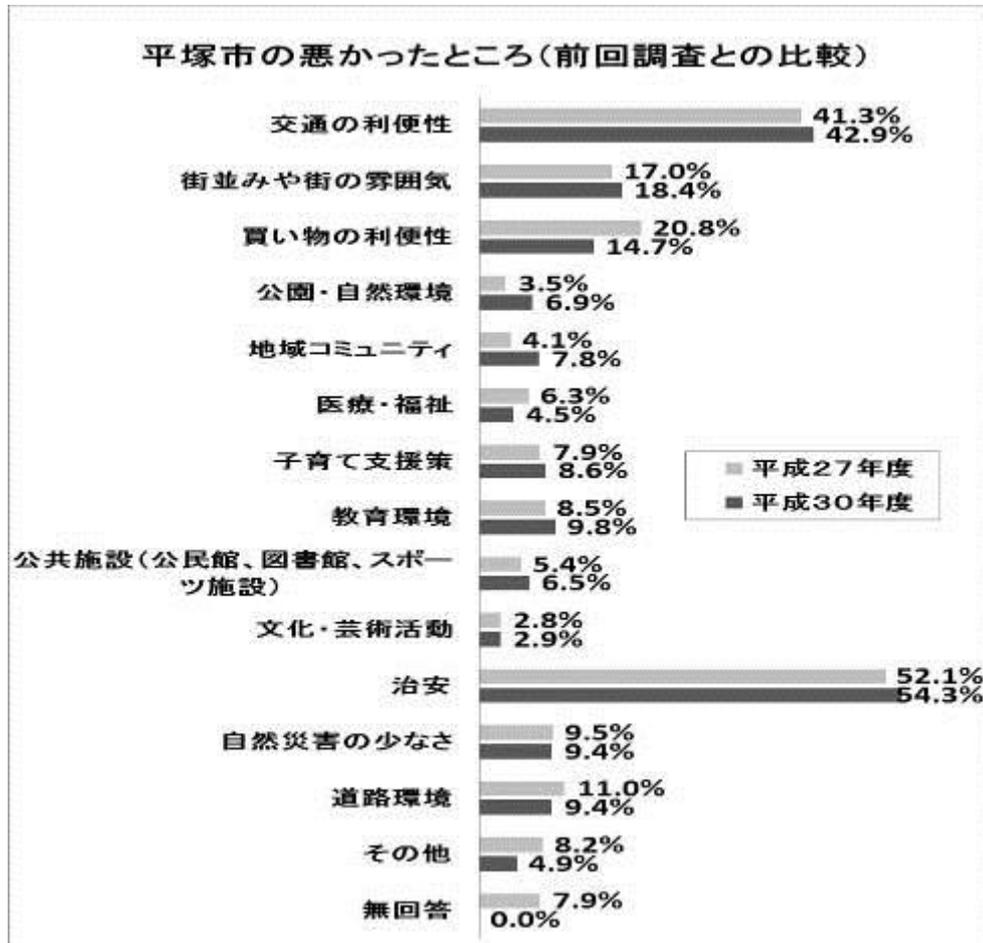
子ども有(N=80) 子ども無(N=165)



## 【2】転出者アンケート調査

### ■平塚市に住んでいて悪かったところの前回調査との比較

平成27年度の前回調査と比較すると、傾向は大きく変わらないが、「買い物の利便性」の割合が6.1ポイント減少している一方、「地域コミュニティ」の割合が3.7ポイント増加している。



平塚市に住んでいて悪かったところ（複数回答可）の総数は、減少しているが、1人あたり平均数は前回同様2.0個となっている。

	総数(無回答除く)	回答者数	一人あたり平均
平成27年度	629	317	2.0
平成30年度	492	245	2.0

## 【2】転出者アンケート調査

### 問16 平塚市の良かったところ（自由記述）

■「公園・自然環境」が良かったと答えた方の主な理由

- ・海、山、川など自然が豊かで住みやすく、自然に囲まれて成長できた。
- ・総合公園が広く、整備されていて子どもにとって素晴らしい環境であった。

■「買い物の利便性」が良かったと答えた方の主な理由

- ・大型商業施設が複数あり、スーパー等がたくさんあるので、近場（市内）で全ての物がそろろう。

■「交通の利便性」が良かったと答えた方の主な理由

- ・電車の本数が多く、朝の始発電車もあるところ
- ・都内や横浜まで電車一本で行くことができ、また、鎌倉や箱根、熱海等の観光地にも近いところ
- ・バスの便が多く、また早朝から夜まで運行していた。

■「街並みや街の雰囲気」が良かったと答えた方の主な理由

- ・街の雰囲気が静かでゆったりしていて、人が温かい。

### 問17 平塚市の悪かったところ（自由記述）

■「治安」が悪かったと答えた方の主な理由

- ・駅周辺の治安
- ・自転車等の盗難にあった。

■「交通の利便性」が悪かったと答えた方の主な理由

- ・バスの本数が少なく、また時間通りに来ないことが多かった。
- ・鉄道の駅が平塚駅しかなく、東海道線が止まってしまうと仕事等に通うのが大変だった。



## 第3章 結果の考察



今回の調査では、本市の強みや弱み等を把握し、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料として活用することを目的に、子育て世代を中心に、移転（転入出）のきっかけ、移転先を決定した理由、本市に対する印象などについて伺いました。

このアンケート調査により、次のことが明らかになりました。

- 1 転入の全体的な傾向
- 2 子どもの有無別の転入の傾向
- 3 転出者のUターン意向、転入者の本市との関わり
- 4 良かったところ、悪かったところの前回調査との比較
- 5 平塚市の強み、弱み

### 1 転入の全体的な傾向

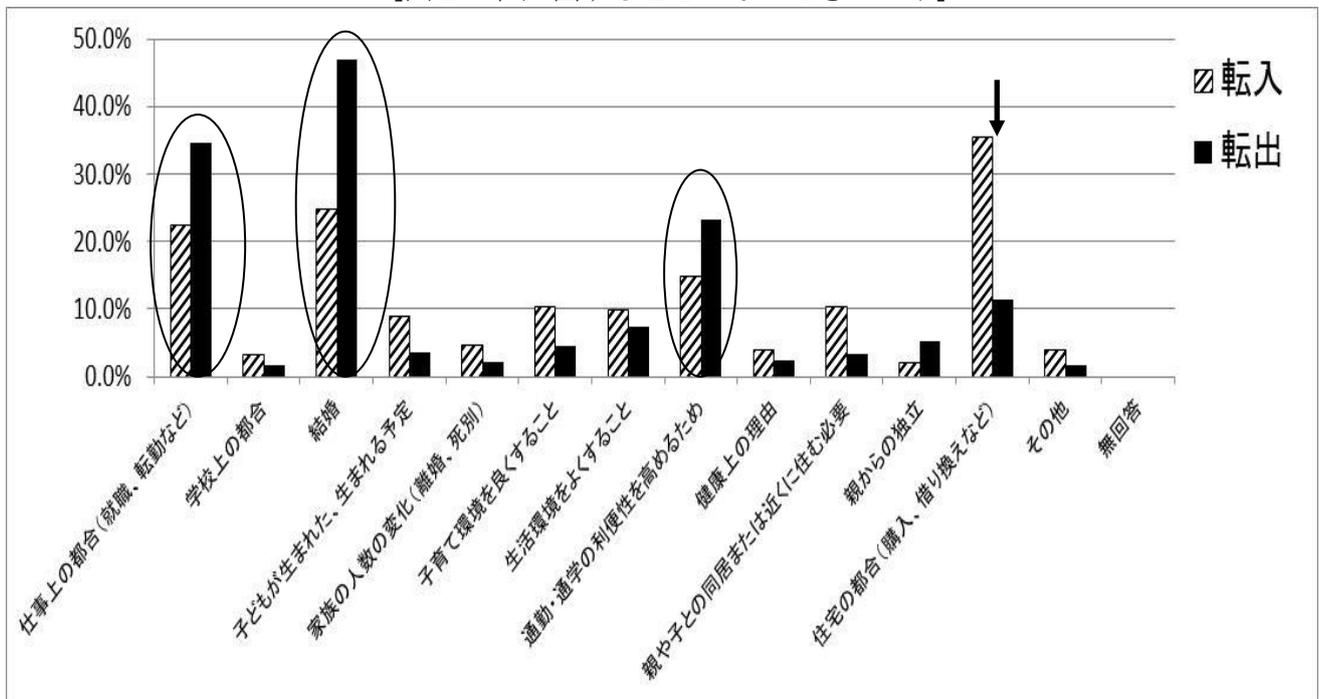
#### (1) 転入出することになったきっかけ

転入出の全体的な傾向として、転入の主なきっかけは、「住宅の都合」、「結婚」、「仕事上の都合」であり、転出の主なきっかけは、「結婚」、「仕事上の都合」、「通勤・通学の利便性」となっている。

また、「仕事上の都合」、「結婚」、「通勤・通学の利便性」は、転出のきっかけとして、転入のきっかけよりも特に高い割合を示している。【図1の○囲み部分】

一方、「住宅の都合」では、転入のきっかけとして、転出のきっかけよりも特に高い割合を示している。【図1の↓部分】

[図1 転入出することになったきっかけ]



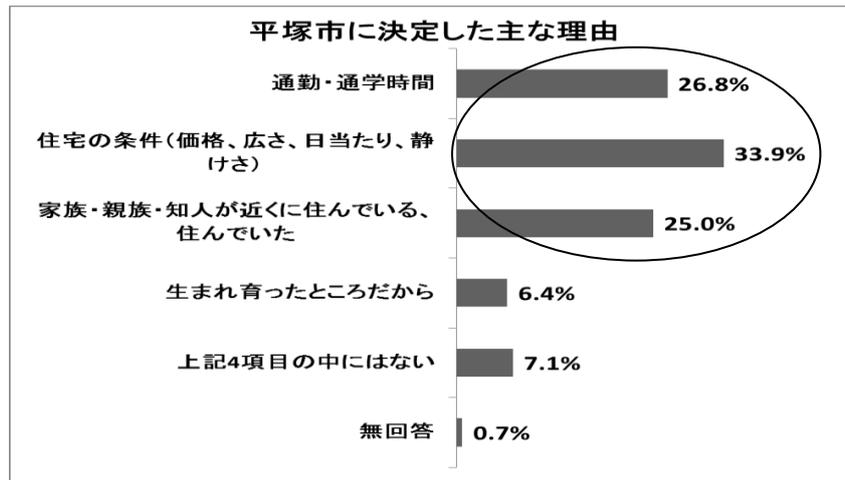
## 結果の考察

### (2) 転入先を決めた主な理由

転入先を決めた主な理由は、「通勤・通学時間」、「住宅の条件」、「家族・親族・知人が（近くに）住んでいる」、「生まれ育ったところだから」の3つの理由が85%以上を占めている。

また、本設問で、「上記4項目の中にはない」と回答した方の主な転入先の決定理由は、「趣味の都合のため」、「静かそうな街の雰囲気のため」、「海と田園風景に惹かれたため」、「買い物の利便性」などがあつた。

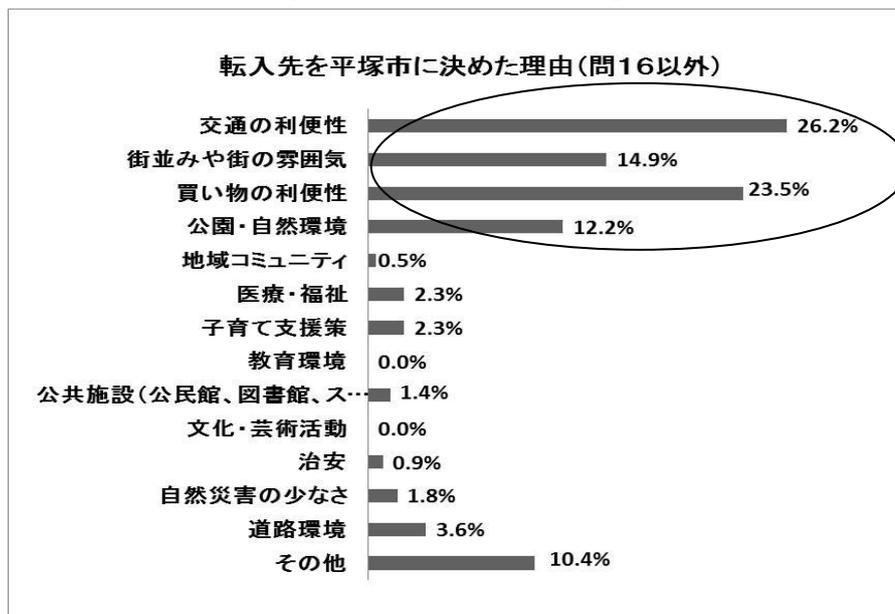
[図2 転入先を決めた主な理由]



### (3) その他の転入先の決定理由

上記以外の転入先の決定理由としては、「交通の利便性」、「買い物の利便性」、「街並みや街の雰囲気」、「公園・自然環境」の4つの理由が76%以上を占めている。

[図3 転入先の決定理由]



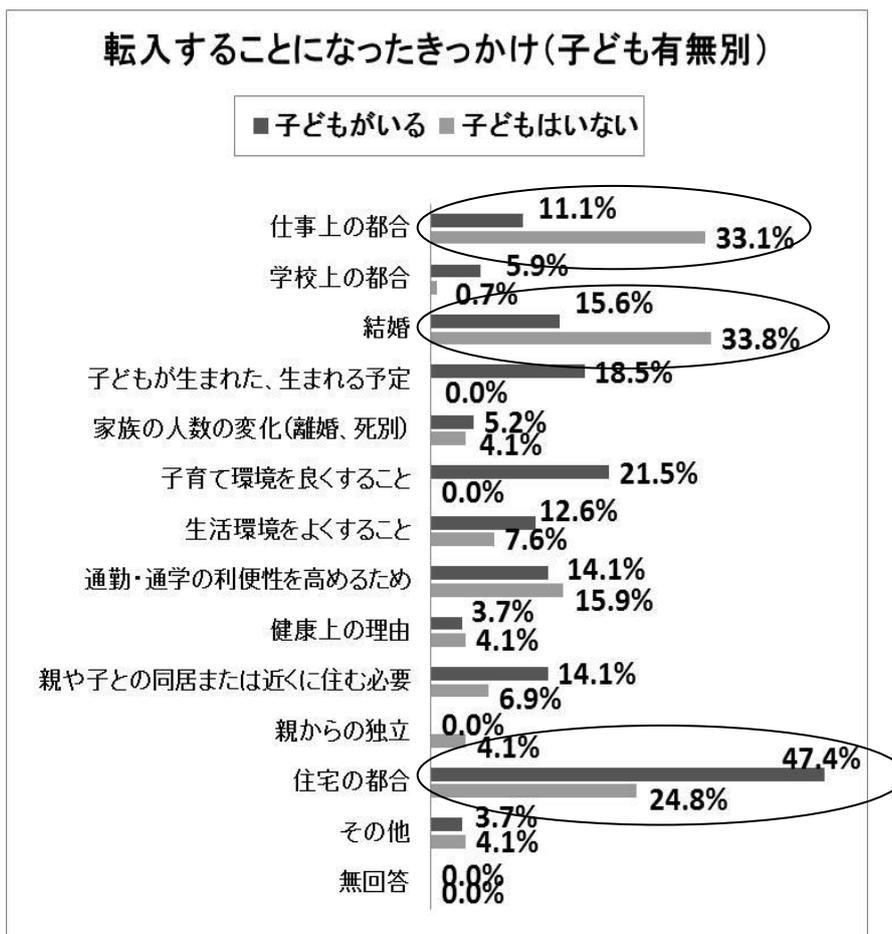
**2 子どもの有無別の転入の傾向**

(1) 転入することになったきっかけ (子ども有無別)

子どもの有無別で本市に転入することになったきっかけをみると、子どもがいる方は「住宅の都合」が最も高くなっており、子どもの有無による差は22.6ポイントとなっている。

また、子どもがいない方は、「結婚」、「仕事上の都合」が高くなっており、「仕事上の都合」の子どもの有無による差は、22.0ポイントとなっている。

[図4 転入することになったきっかけ (子ども有無別)]

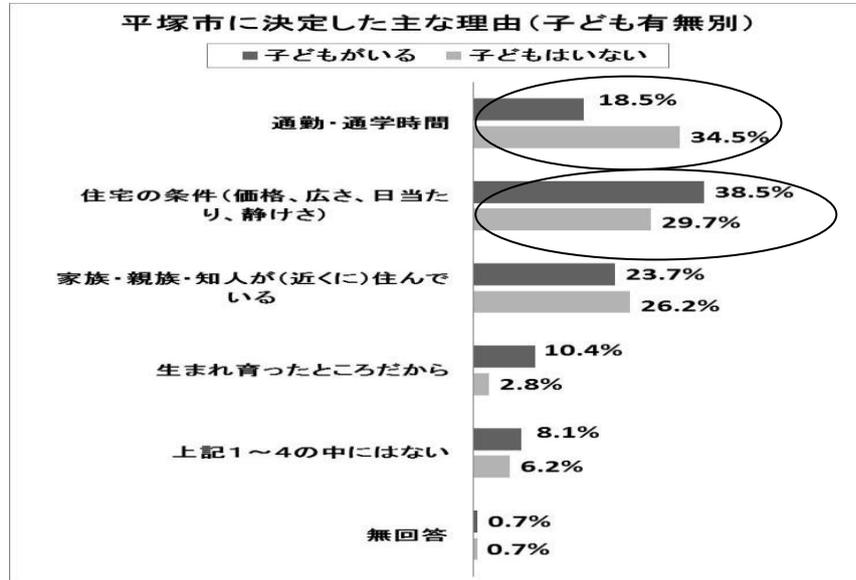


## 結果の考察

### (2) 転入先を決めた主な理由（子ども有無別）

上記以外の転入先の決定理由を子どもの有無別でみると、子どもがいる方は「住宅の条件」を、子どもがいない方は、「通勤・通学時間」を本市への転入の主たる理由としている割合が特に高い。

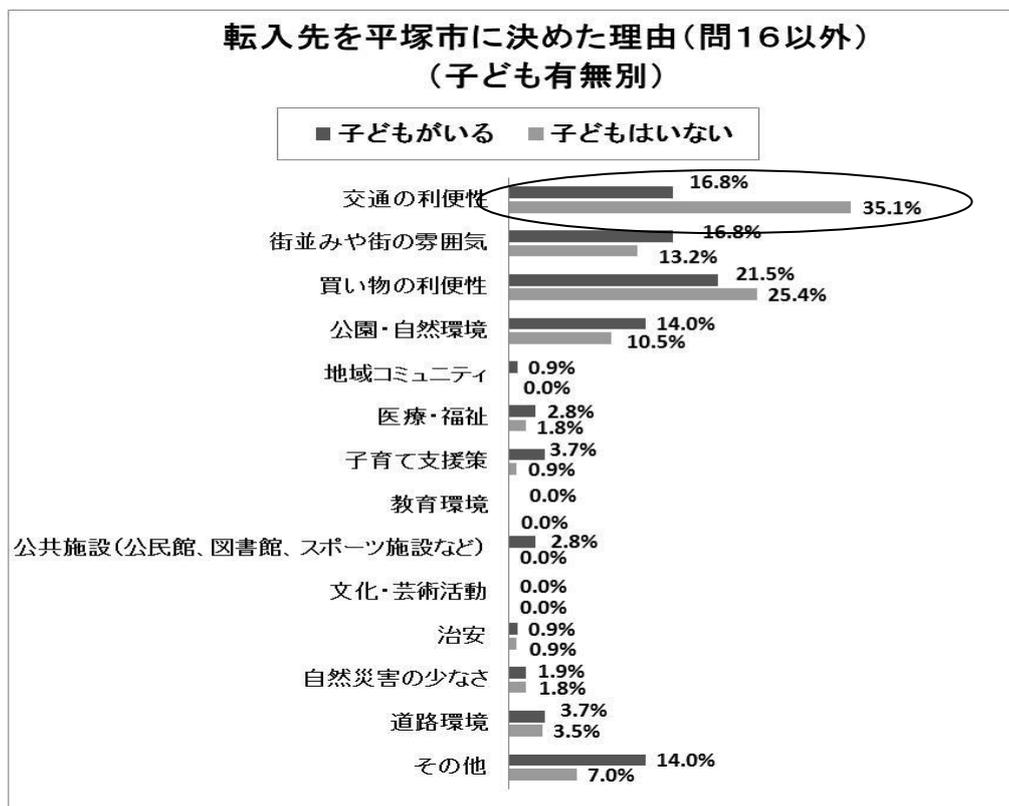
[図5 転入先の主な決定理由（子ども有無別）]



### (3) その他の転入先の決定理由（子ども有無別）

上記以外の主ではない転入先決定理由を子どもの有無別でみると、子どもはいる方は、「交通の利便性」を理由としている割合が特に高く、子どもの有無による差は、18.3ポイントとなっている。

[図6 転入先の決定理由（子ども有無別）]

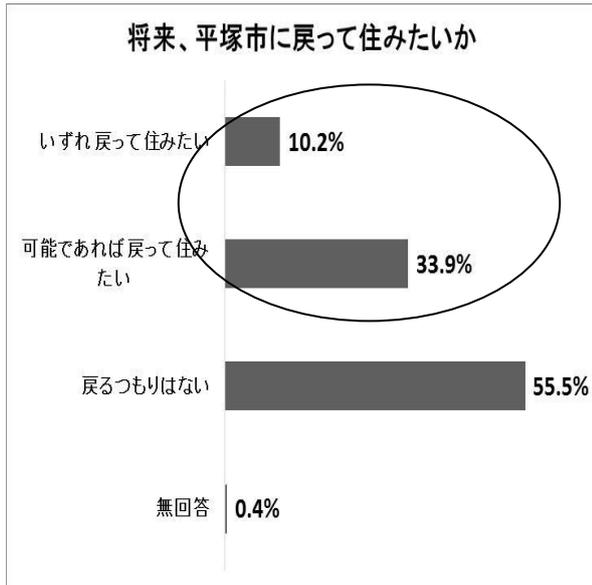


3 転出者のUターン意向、転入者の本市との関わり

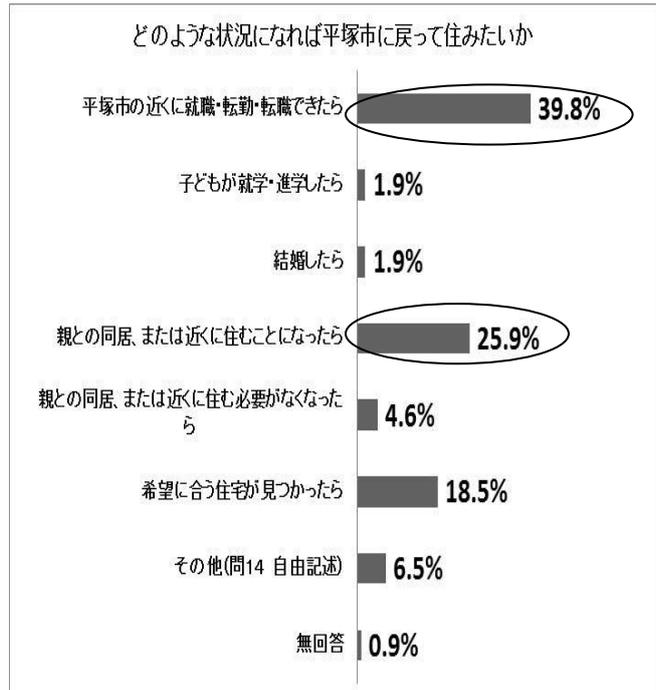
(1) 転出者のUターン意向

転出者の44.1%の方が、事情が許せば本市に戻って住みたいと考えている。その中の約40%の方が、平塚市もしくは平塚市の近くで仕事をする事ができれば本市に戻って住みたい、約26%の方が親との同居や近居により本市に戻って住みたいと回答している。このことから、子育て世代のUターン者の促進という観点からも、魅力的でかつ安定した雇用機会の確保を図ることが重要と考えられる。

[図7 本市へのUターン意向]



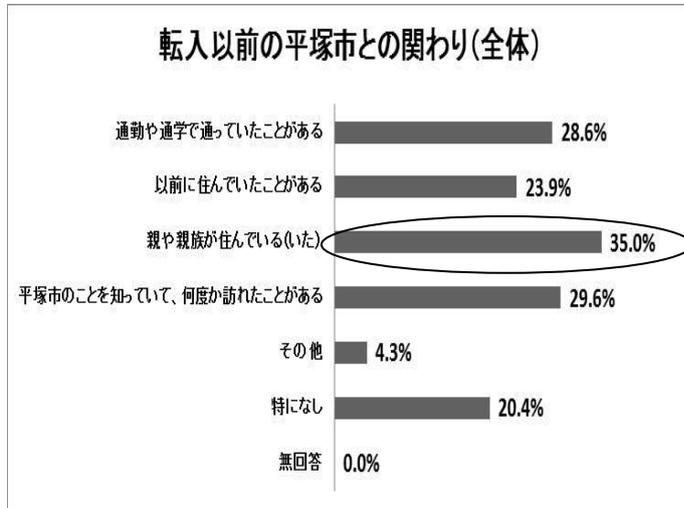
[図8 どんな状況になればUターンするか]



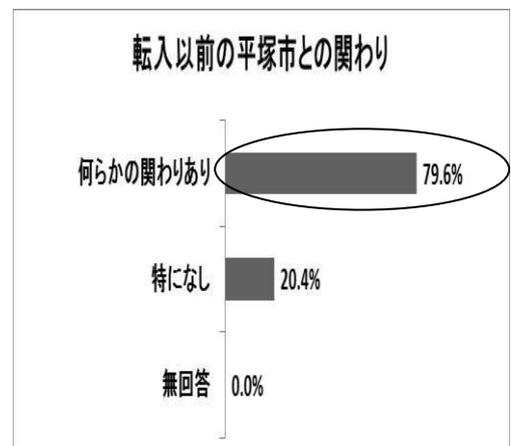
(2) 転入者からみる本市との関わり

転入した方の本市との関わりをみると、「親や親族が住んでいる」が35.0%で最も高く、また、その他の選択肢と合わせ本市と何らかの関わりがあった方は全体の約8割にのぼる。

[図9 転入以前の本市との関わり (項目別)]



[図10 転入以前の本市との関わり有無]



### (3) 転出者のUターン意向、転入者の本市との関わりと転入への影響

前述のとおり、本人もしくは配偶者の家族・親族などが住んでいることが、本市へのUターンや転入の決定に大きな影響を与えていると考えられる。また、転入者の転入前の本市との関わりで、「以前に住んでいたことがある」方は23.9%、転入の主な決定理由として、「生まれ育ったところだから」が6.9%と、家族など人とのつながりの他に、住み慣れた土地ということも、居住先の決定に少なからず影響を与えていると考えられる。

これらのことや、本市に転入した方の約8割は、本市と何らかの関わりがあったことから、過去に本市に居住していて転出した方や、通勤通学で本市に通っていた方、また、本市に家族などのつながりがある市外に居住している方に対して、「結婚」、「仕事」、「住宅の都合」などをきっかけとして、本市に転入してもらえるような情報発信や、集客力のあるイベント等を行い、本市を訪れたことがある人を増やすことも、転入促進の面から必要であると考えられる。

4 良かったところ、悪かったところの前回調査との比較

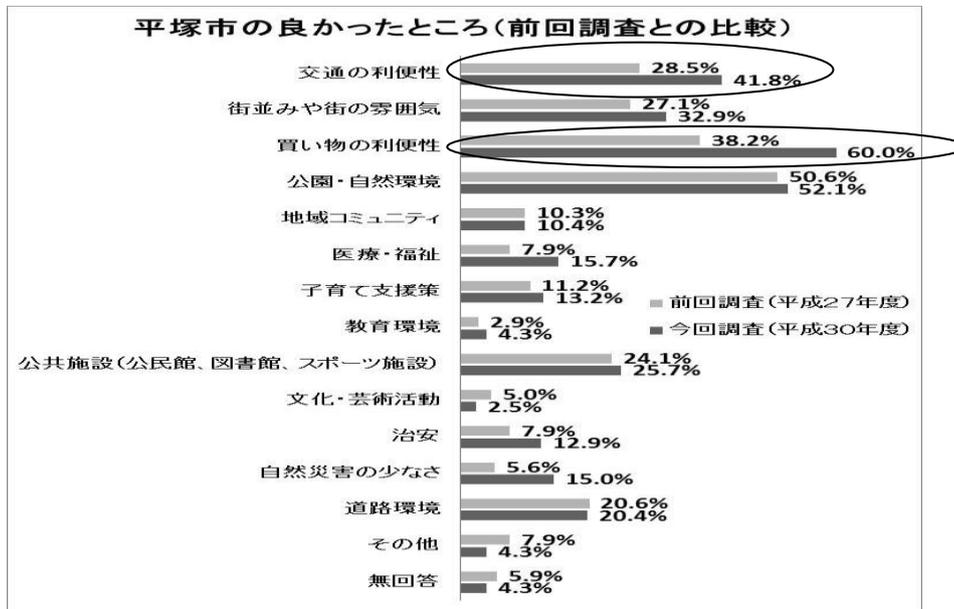
(1) 本市の良かったところの前回調査との比較

平成27年度の前回調査と比較すると、傾向は大きく変わらないが、転入者については、「交通の利便性」が28.5%から41.8%に、「買い物の利便性」が38.2%から60.0%に、それぞれ大きく上昇している。また、転出者については、「交通の利便性」が31.2%から37.6%に上昇している。

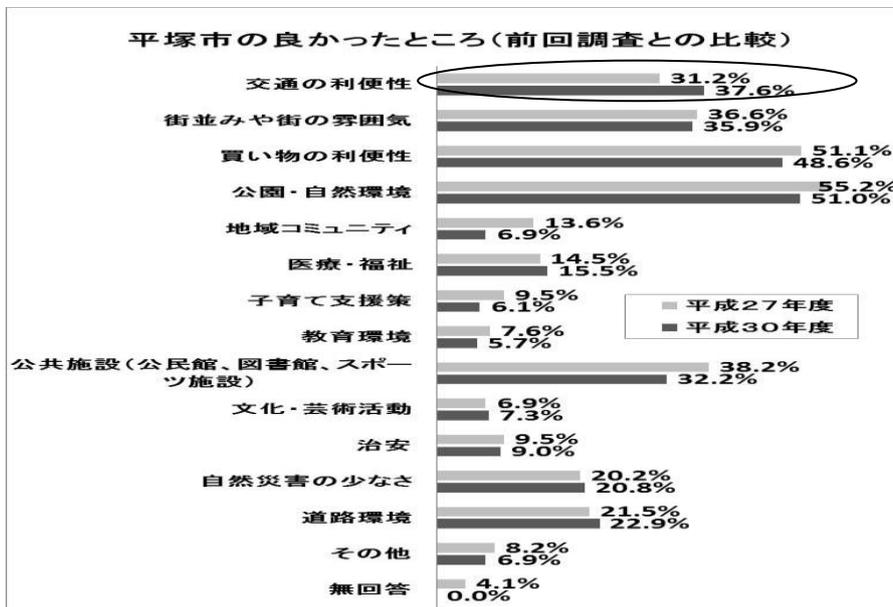
「交通の利便性」は、圏央道等の高速道路のインターチェンジが近いことや、都内や横浜まで電車一本で通うことができること等が自由記述で挙げられていた。

「買い物の利便性」は、天沼地区の大型商業施設やスーパー、ドラッグストアの新規出店等が要因と考えられる。実際に、自由記述には大型商業施設が複数あり、買い物に便利であるという意見が多く、また、転入者の自由記述では、実際に住んでみて、想像以上にスーパー等が多くて便利という意見が多かったことから、特に転入者における割合が高くなったと考えられる。

[図11 転入者の良かったところ(前回調査との比較)]



[図12 転出者の良かったところ(前回調査との比較)]



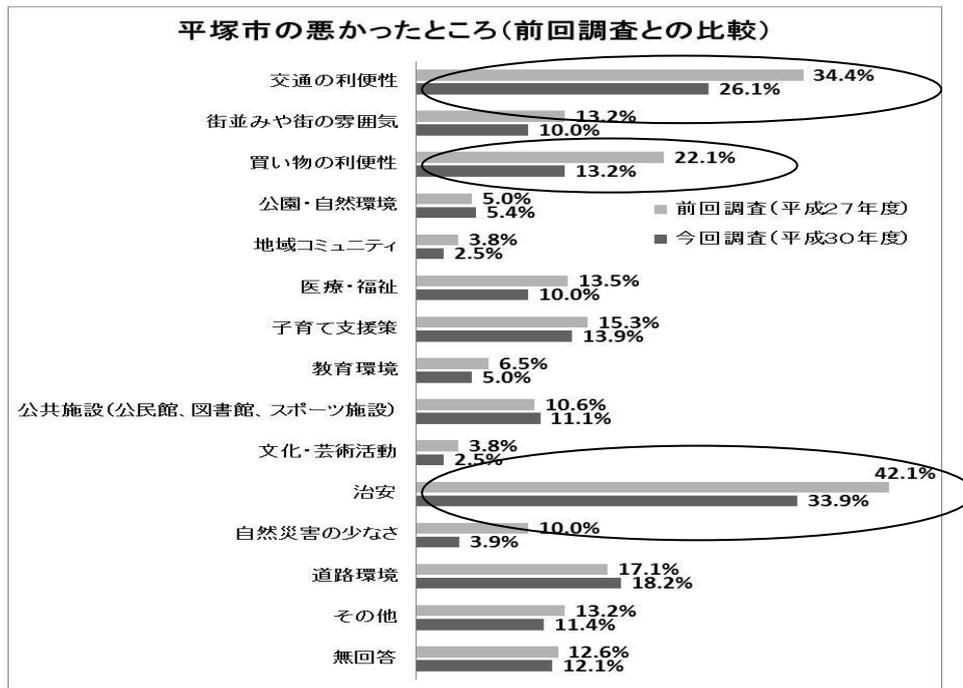
## 結果の考察

### (2) 本市の悪かったところの前回調査との比較

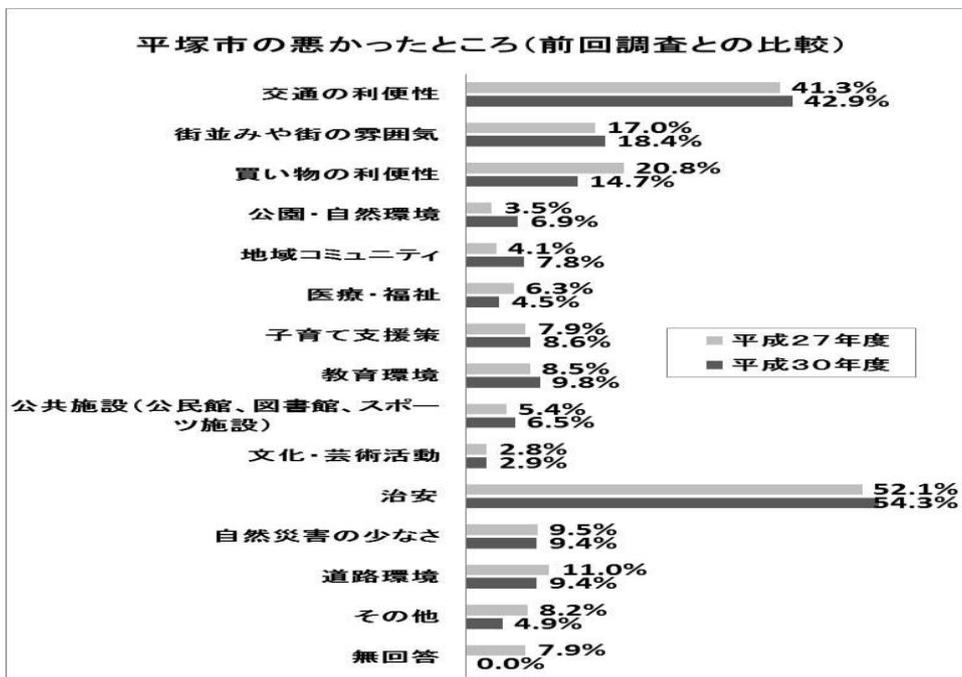
悪かったところも大きく傾向は変わらないが、転入者の「交通の利便性」、「買い物の利便性」については、前述のとおり良かったところの割合が前回調査と比較すると高くなっており、そのことが裏付けられるように、「交通の利便性」が34.4%から26.1%に、「買い物の利便性」が22.1%から13.2%に、それぞれ減少している。

また、本市の弱みとなっている「治安」についても、平成27年度の前回調査と比較すると、転入者については、42.1%から33.9%に減少している。自由記述をみると、「イメージや聞いていたよりも治安が良い」等の意見も多く、本市に住んで生活してみることにより、治安に対するイメージが変わったと考えられる。

[図13 転入者の悪かったところ(前回調査との比較)]



[図14 転出者の悪かったところ(前回調査との比較)]



5 平塚市の強み、弱み

(1) 本市の「良かったところ」と「悪かったところ」の転入者・転出者の評価

[表1 転入者]

	転入者	良い		悪い		差
	選択肢	割合	順位	割合	順位	
平塚市の 良いところ・ 悪いところ	交通の利便性	41.8%	3	26.1%	2	15.7%
	街並みや街の雰囲気	32.9%	4	10.0%	9	22.9%
	買い物の利便性	60.0%	1	13.2%	5	46.8%
	公園・自然環境	52.1%	2	5.4%	11	46.7%
	地域コミュニティ	10.4%	11	2.5%	14	7.9%
	医療・福祉	15.7%	7	10.0%	9	5.7%
	子育て支援策	13.2%	9	13.9%	4	-0.7%
	教育環境	4.3%	12	5.0%	12	-0.7%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	25.7%	5	11.1%	8	14.6%
	文化・芸術活動	2.5%	15	2.5%	14	0.0%
	治安	12.9%	10	33.9%	1	-21.0%
	自然災害の少なさ	15.0%	8	3.9%	13	11.1%
	道路環境	20.4%	6	18.2%	3	2.2%
	その他	4.3%	12	11.4%	7	-7.1%
	無回答	4.3%	12	12.1%	6	-7.8%
	計	-	-	-	-	-

[表2 転出者]

	転出者	良い		悪い		差
	選択肢	割合	順位	割合	順位	
平塚市の 良いところ・ 悪いところ	交通の利便性	37.6%	3	42.9%	2	-5.3%
	街並みや街の雰囲気	35.9%	4	18.4%	3	17.5%
	買い物の利便性	48.6%	2	14.7%	4	33.9%
	公園・自然環境	51.0%	1	6.9%	10	44.1%
	地域コミュニティ	6.9%	11	7.8%	9	-0.9%
	医療・福祉	15.5%	8	4.5%	13	11.0%
	子育て支援策	6.1%	13	8.6%	8	-2.5%
	教育環境	5.7%	14	9.8%	5	-4.1%
	公共施設(公民館、図書館、スポーツ施設)	32.2%	5	6.5%	11	25.7%
	文化・芸術活動	7.3%	10	2.9%	14	4.4%
	治安	9.0%	9	54.3%	1	-45.3%
	自然災害の少なさ	20.8%	7	9.4%	6	11.4%
	道路環境	22.9%	6	9.4%	6	13.5%
	その他	6.9%	11	4.9%	12	2.0%
	無回答	0.0%	15	0.0%	15	0.0%
	計	-	-	-	-	-

### (2) 本市の強み

表1及び表2のとおり、回答割合の差からみると、転入者は「買い物の利便性」、「公園・自然環境」が特に高い評価であり、転出者も、「買い物の利便性」、「公園・自然環境」が特に高い評価となっている。

また、「転入先を平塚市に決定した理由」においても、「公園・自然環境」は比較的高い割合であることから、本市が持つ資源である「公園・自然環境」は子育て世代にとって、一定程度、転入の促進に寄与するとともに、転出抑制の効果も期待される。

こうしたことから、子育て世代を対象としたイベントなどを行うことにより、市内外に本市のアピールポイントの1つとして「公園・自然環境」を効果的に発信していくとともに、市民等が本市の資源に触れる機会を増やし、愛着を深めていくことが重要であると考えられる。

### (3) 本市の弱み

表1及び表2のとおり、回答割合の差からみると、転入者・転出者ともに「治安」が特に高い割合となっている。理由としては、報道や伝聞などからのイメージや軽犯罪にあったなどの実体験等が自由記述で挙げられていた。治安に対するマイナスイメージの払しょくとともに、犯罪が起きにくい環境づくりが求められていることが分かる。

また、転入者・転出者ともに、「交通の利便性」を「良かったところ」と評価する割合が高い一方、「悪かったところ」と評価する割合も高かったことから、居住地やライフスタイル等によって、差異があることが推測できる。このことから、さらなる調査・分析を行い、地域特性に応じた公共交通のサービスレベルの維持・改善を図ることで、転入促進と転出抑制の両側面につながると考えられる。

## 資料編



## 平塚市に転入された方へ

### ～ アンケート調査へのご協力をお願いします ～

このたび、平塚市では本市へ転入された方を対象としたアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、本市へ転入された皆様の転入のきっかけや理由を調査し、今後のまちづくりの基礎資料を得るために行うものです。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査は無記名式のため個人が特定されることはありません。

また、調査結果を調査目的以外に使用することはありません。

- **目的** : 今後のまちづくりを進めていくための基礎資料を得るために行うものです。
- **調査対象** : 平成29年1月1日から平成29年12月31日まで（異動基準日）に東京都及び神奈川県内各市町村から平塚市へ転入された方の中から、25歳から39歳までの方について、住民基本台帳により無作為抽出した1,000人を対象としています。
- **調査期間** : **平成31年1月11日（金）から1月25日（金）まで** 15日間  
（調査の実施については、広報ひらつか1月第1金曜日号及び本市ホームページに掲載しています。）
- **回答方法** : 質問には、封筒の宛名の方による回答をお願いします。
- **提出方法** : 同封させていただきました返信用封筒に調査票を入れて  
**平成31年1月25日（金）**までに最寄りの郵便ポストへ投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

ご協力をお願いいたします。

<問い合わせ> 平塚市 企画政策部 企画政策課 計画推進担当  
TEL:0463-21-8760(直通)  
E-mail:kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp

あなたご自身やご家族のことについて、お伺いします。

各設問の選択肢の中から、当てはまる番号に○をつけてください。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- |           |           |           |          |
|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 25～29歳 | 2. 30～34歳 | 3. 35～39歳 | 4. 40歳以上 |
|-----------|-----------|-----------|----------|

問3 あなたのお仕事をお答えください。(○は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 各種学校・専門学校・短大・大学・大学院生（予備校含む） |
| 2. 会社員・公務員・団体職員                |
| 3. 自営業・会社経営                    |
| 4. 家事従事者                       |
| 5. パート・アルバイト                   |
| 6. 無職                          |
| 7. その他 [具体的に_____]             |

問4 あなたと同居しているお子さんは何人いますか。(○は1つ)

- |                  |   |        |     |
|------------------|---|--------|-----|
| 1. 1人            | } | .....→ | 問5へ |
| 2. 2人            |   |        |     |
| 3. 3人            |   |        |     |
| 4. 4人            |   |        |     |
| 5. 5人以上          |   |        |     |
| 6. 同居している子どもはいない | } | .....→ | 問6へ |

問5 あなたと同居しているお子さんは、次のうちどちらに該当しますか。

(当てはまるもの全てに○)

1. 就学前	5. 専門学校・短大・大学・大学院生など
2. 小学生	6. 既に学校教育を終了している。 (現在の就業状況は問わない)
3. 中学生	7. その他[具体的に_____]
4. 高校生	

問6 現在、平塚市のどちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)

※地区については本調査票最終ページの「(参考) 平塚市地区別地図」をご確認ください。

1. 海岸	7. 金田
2. 平塚	8. 神田
3. 大野	9. 金目
4. 豊田	10. 土沢
5. 城島	11. 旭
6. 岡崎	

問7 転入する以前の市区町村についてお答えください。

都・県	市・区・町・村
-----	---------

横浜市・川崎市・相模原市  
の場合行政区まで

→

区
---

問8 転入する以前のあなた(あなたの配偶者含む)と平塚市との関わりについてお答えください。(当てはまるもの全てに○)

1. 通勤や通学で通っていたことがある
2. 以前に住んでいたことがある
3. 親や親族が住んでいる(いた)
4. 平塚市のことを知っていて、何度か訪れたことがある
5. その他[具体的に_____]
6. 特になし

**転入のきっかけについて、お伺いします。**

**問9 転入することになったきっかけは主にどなたによるものですか。(○は1つ)**

1. あなた自身
2. 配偶者（妻または夫）
3. 子ども
4. あなたの親または配偶者（妻または夫）の親
5. その他 [具体的に\_\_\_\_\_]

**問10 転入することになったきっかけについてお答えください。**

**(当てはまるもの全てに○)**

1. 仕事上の都合（就職、転勤、転職、退職など）
2. 学校上の都合（入学、進学、転校など）
3. 結婚（事実婚を含む）
4. 子どもが生まれた、または生まれる予定があった
5. 家族の人数の変化（3・4を除く。離婚・死別など）
6. 子育て環境をよくすること
7. 生活環境（6を除く。買い物の利便性、治安など）をよくすること
8. 通勤・通学の利便性を高めるため（時間短縮など）
9. 健康上の理由（通院・病気療養など）
10. 親や子との同居、または近くに住む必要があったこと
11. 親からの独立（1～3を除く）
12. 住宅の都合（住宅の購入、借家の借り換えなど）
13. その他 [具体的に\_\_\_\_\_]

**転入先の検討段階について、お伺いします。**

**問 1 1 平塚市以外の市区町村も転入先として検討しましたか。(〇は1つ)**

1. 他の市区町村も検討した

【具体的な市区町村を2つまでお答えください】

1つ目	都・道	市・区
	府・県	町・村

2つ目	都・道	市・区
	府・県	町・村

2. 平塚市に決めていたので、検討しなかった

3. 平塚市に住むことが決まっていた（社宅、家族の持ち家など）

**問 1 2 転入先の検討にあたり、重視した条件をお答えください。(〇は2つまで)**

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 通勤・通学の利便性 | 5. 自然環境            |
| 2. 街のイメージ    | 6. 生活環境（買物の利便性、治安） |
| 3. 子育て・教育環境  | 7. その他             |
| 4. 地価・家賃相場   | [具体的に_____]        |

**問 1 3 転入先の地域を探したときの情報源についてお答えください。**

**(当てはまるもの全てに〇)**

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 市区町村のホームページ等     | 6. ハウスメーカー・建設会社 |
| 2. 住宅情報・不動産情報ホームページ | 7. 新聞・広告        |
| 3. その他インターネット情報     | 8. 電車バス等の車内広告   |
| [具体的に_____]         | 9. 家族・親族・知人     |
| 4. 住宅情報誌            | 10. その他         |
| 5. 不動産業者            | [具体的に_____]     |

**問 1 4** 平塚市がシティプロモーション（平塚の魅力を発信する取組）を行っていることを知っていますか。（○は1つ）

- |               |        |         |
|---------------|--------|---------|
| 1. 転入前から知っていた | -----> | 問 1 5 へ |
| 2. 転入後に知った    | }      | 問 1 6 へ |
| 3. 知らなかった     |        |         |

**問 1 5** 平塚市のシティプロモーションの取組は、平塚市を転入先として決定するにあたり、参考になりましたか。（○は1つ）

- |                 |
|-----------------|
| 1. とても参考になった    |
| 2. まあまあ参考になった   |
| 3. あまり参考にならなかった |

**転入先を決めた理由について、お伺いします。**

**問 16 転入先を平塚市に決めた主な理由についてお答えください。**

**(当てはまるもの1つに○)**

1. 通勤・通学時間
2. 住宅の条件（価格、広さ、日当たり、静けさ）
3. 家族・親族・知人が（近くに）住んでいるから
4. 生まれ育ったところだから
5. 上記1～4の中にはない

**問 17 問 16 の理由以外で転入先を平塚市に決めた理由についてお答えください。**

**(当てはまるもの1つに○)**

- |              |                           |
|--------------|---------------------------|
| 1. 交通の利便性    | 8. 教育環境                   |
| 2. 街並みや街の雰囲気 | 9. 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など） |
| 3. 買い物の利便性   | 10. 文化・芸術活動               |
| 4. 公園・自然環境   | 11. 治安                    |
| 5. 地域コミュニティ  | 12. 自然災害の少なさ              |
| 6. 医療・福祉     | 13. 道路環境                  |
| 7. 子育て支援策    | 14. その他[_____]            |

**問 18 問 17 でお答えいただいた平塚市に決めた理由は具体的にどのようなことですか。**

**(自由記述)**

.....

.....

.....

.....

平塚市について、あなたの印象をお伺いします。

問19 平塚市に住んでみて良かったところ、悪かったところはどのようなことですか。  
(それぞれ、当てはまるもの全てに○をつけてください。)

良かったところ	悪かったところ
<ul style="list-style-type: none"><li>1. 交通の利便性</li><li>2. 街並みや街の雰囲気</li><li>3. 買い物の利便性</li><li>4. 公園・自然環境</li><li>5. 地域コミュニティ</li><li>6. 医療・福祉</li><li>7. 子育て支援策</li><li>8. 教育環境</li><li>9. 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など）</li><li>10. 文化・芸術活動</li><li>11. 治安</li><li>12. 自然災害の少なさ</li><li>13. 道路環境</li><li>14. その他</li></ul> <p>[具体的に_____]</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>1. 交通の利便性</li><li>2. 街並みや街の雰囲気</li><li>3. 買い物の利便性</li><li>4. 公園・自然環境</li><li>5. 地域コミュニティ</li><li>6. 医療・福祉</li><li>7. 子育て支援策</li><li>8. 教育環境</li><li>9. 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など）</li><li>10. 文化・芸術活動</li><li>11. 治安</li><li>12. 自然災害の発生</li><li>13. 道路環境</li><li>14. その他</li></ul> <p>[具体的に_____]</p>

問20 問19でお答えいただいた平塚市の良かったところは具体的にどのようなことですか。主なもの1つお答えください。(自由記述)

.....

.....

.....

問21 問19でお答えいただいた平塚市の悪かったところは具体的にどのようなことですか。主なもの1つお答えください。(自由記述)

.....

.....

.....

アンケートは以上になります。貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございました！！

**同封の返信用封筒**にて本アンケート用紙をご送付くださいますようお願いいたします。なお、切手を貼らずに、そのまま郵便ポストにご投函いただけます。

☆☆ **1月25日(金)までにご投函をお願いします。** ☆☆

アンケートの実施については、平塚市の企画政策課ホームページ、並びに広報ひらつか（1月4日号）にてお知らせしています。

なお、結果の概要については、調査結果を集計次第、ホームページ等での公表を予定しております。

<参考>平塚市地区別地図



No.	地区	町丁名
1	海岸	久領堤、黒部丘、幸町、葦平、千石河岸、袖ヶ浜、代官町、高浜台、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜、花水台、札場町、松風町、桃浜町、八重咲町、夕陽ヶ丘、龍城ヶ丘
2	平塚	明石町、天沼、榎木町、老松町、上平塚、桜ヶ丘、須賀、諏訪町、浅間町、宝町、立野町、達上ヶ丘、堤町、豊原町、中里、中堂、長瀬、錦町、馬入、馬入本町、平塚1～5丁目、富士見町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町、八千代町
3	大野	追分、大原、御殿1～4丁目、四之宮1～7丁目、新町、中原1～3丁目、中原上宿、中原下宿、西真土1～4丁目、西八幡1～4丁目、東真土1～4丁目、東中原1～2丁目、東八幡1～5丁目、南原1～4丁目
4	豊田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
5	城島	大島、城所、小鍋島、下島
6	岡崎	岡崎、ふじみ野1～2丁目
7	金田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
8	神田	大神、田村1～9丁目、横内、吉際
9	金目	片岡、北金目、北金目1～4丁目、真田、真田1～4丁目、千須谷、広川、南金目
10	土沢	上吉沢、下吉沢、土屋、めぐみが丘1～2丁目
11	旭	出縄、公所、河内、高根、高村、徳延、根坂間、日向岡1～2丁目、纏、万田、山下

## 平塚市から転出された方へ

### ～ アンケート調査へのご協力をお願いします ～

このたび、平塚市では本市から転出された方を対象としたアンケート調査を実施することとしました。

この調査は、本市から転出された皆様の転出のきっかけや理由を調査し、今後のまちづくりの基礎資料を得るために行うものです。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査は無記名式のため個人が特定されることはありません。

また、調査結果を調査目的以外に使用することはありません。

- **目的** : 今後のまちづくりを進めていくための基礎資料を得るために行うものです。
- **調査対象** : 平成29年1月1日から平成29年12月31日まで（異動基準日）に平塚市から東京都及び神奈川県内各市町村に転出された25歳から39歳までの方の中から、住民基本台帳により無作為抽出した1,000人を対象としています。
- **調査期間** : **平成31年1月11日（金）から1月25日（金）まで** 15日間（調査の実施については、本市ホームページに掲載しています。）
- **回答方法** : 質問には、封筒の宛名の方による回答をお願いします。
- **提出方法** : 同封させていただきました返信用封筒に調査票を入れて **平成31年1月25日（金）**までに最寄りの郵便ポストへ投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

ご協力をお願いいたします。

<問い合わせ> 平塚市 企画政策部 企画政策課 計画推進担当  
TEL:0463-21-8760(直通)  
E-mail:kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp



問5 あなたと同居しているお子さんは、次のうちどちらに該当しますか。

(当てはまるもの全てに○)

- |        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 1. 就学前 | 5. 専門学校・短大・大学・大学院生など            |
| 2. 小学生 | 6. 既に学校教育を終了している。(現在の就業状況は問わない) |
| 3. 中学生 | 7. その他[具体的に_____]               |
| 4. 高校生 |                                 |

問6 転出前は平塚市のどちらの地区にお住まいでしたか。(○は1つ)

※地域については本調査票最終ページの「(参考)平塚市地区別地図」をご確認ください。

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. 海岸 | 7. 金田  |
| 2. 平塚 | 8. 神田  |
| 3. 大野 | 9. 金目  |
| 4. 豊田 | 10. 土沢 |
| 5. 城島 | 11. 旭  |
| 6. 岡崎 |        |

問7 あなたの平塚市での居住期間(転出するまで)についてお答えください。

(○は1つ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 1年未満      | 4. 10年以上20年未満 |
| 2. 1年以上5年未満  | 5. 20年以上      |
| 3. 5年以上10年未満 | 6. 生まれてからずっと  |

**転出のきっかけ等について、お伺いします。**

**問8 転出することになったきっかけは主にどなたによるものですか。(○は1つ)**

1. あなた自身
2. 配偶者（妻または夫）
3. 子ども
4. あなたの親または配偶者（妻または夫）の親
5. その他 [具体的に\_\_\_\_\_]

**問9 転出することになったきっかけについてお答えください。**

**(当てはまるもの全てに○)**

1. 仕事上の都合（就職、転勤、転職、退職など）
2. 学校上の都合（入学、進学、転校など）
3. 結婚（事実婚を含む）
4. 子どもが生まれた、または生まれる予定があった
5. 家族の人数の変化（3・4を除く。離婚・死別など）
6. 子育て環境をよくすること
7. 生活環境（6を除く。買い物の利便性、治安など）をよくすること
8. 通勤・通学の利便性を高めるため（時間短縮など）
9. 健康上の理由（通院・病気療養など）
10. 親や子との同居、または近くに住む必要があったこと
11. 親からの独立（1～3を除く）
12. 住宅の都合（住宅の購入、借家の借り換えなど）
13. その他 [具体的に\_\_\_\_\_]

**転出先を決めたときのことについて、お伺いします。**

**問10 転出先（現在）の市区町村についてお答えください。**

都・県	市・区・町・村
-----	---------

横浜市・川崎市・相模原市 の場合行政区まで	<b>→</b>	区
--------------------------	----------	---

**問 1 1 転出先（現在）の市区町村に決めた理由についてお答えください。**

**（当てはまるもの全てに○）**

1. 通勤・通学時間
2. 住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）
3. まちのイメージが良い
4. 家賃・住宅価格
5. 街並みや街の雰囲気
6. 買い物の利便性
7. 公園・自然環境
8. 医療・福祉
9. 子育て支援策
10. 教育環境
11. 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など）
12. 治安
13. 自然災害の少なさ
14. 道路環境（車を使った移動のしやすさ）
15. 家族・親族・知人が住んでいる、または、近くに住んでいる
16. 生まれ育ったところだから
17. その他[具体的に\_\_\_\_\_]

**問 1 2 あなたは将来、平塚市に戻って住みたいと思いますか。（○は1つ）**

- |                  |   |   |         |
|------------------|---|---|---------|
| 1. いずれ戻って住みたい    | } | → | 問 1 3 へ |
| 2. 可能であれば戻って住みたい |   |   |         |
| 3. 戻るつもりはない      |   |   | 問 1 5 へ |

**問 1 3 問 1 2 で「1」または「2」と答えた方に伺います。どのような状況になれば平塚市に戻って住みたいかお答えください。（当てはまるもの1つに○をつけてください。当てはまるものがない場合は問 1 4 へお進みください。）**

1. 平塚市の近くに就職・転勤・転職できたら
2. 子どもが就学・進学したら
3. 結婚したら
4. 親との同居、または近くに住むことになったら
5. 親との同居、または近くに住む必要がなくなったら
6. 希望に合う住宅が見つかったら

問14 問13の理由以外でどのような状況になれば平塚市に戻って住みたいかお答えください。(自由記述)

.....

.....

.....

平塚市について、あなたの印象をお伺いします。

問15 今回の転出以前に平塚市に住んでいて良かったところ、悪かったところはどのようなことですか。(それぞれ、当てはまるもの全てに○をつけてください。)

良かったところ

- 1. 交通の利便性
  - 2. 街並みや街の雰囲気
  - 3. 買い物の利便性
  - 4. 公園・自然環境
  - 5. 地域コミュニティ
  - 6. 医療・福祉
  - 7. 子育て支援策
  - 8. 教育環境
  - 9. 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など）
  - 10. 文化・芸術活動
  - 11. 治安
  - 12. 自然災害の少なさ
  - 13. 道路環境
  - 14. その他
- [具体的に\_\_\_\_\_]

悪かったところ

- 1. 交通の利便性
  - 2. 街並みや街の雰囲気
  - 3. 買い物の利便性
  - 4. 公園・自然環境
  - 5. 地域コミュニティ
  - 6. 医療・福祉
  - 7. 子育て支援策
  - 8. 教育環境
  - 9. 公共施設（公民館、図書館、スポーツ施設など）
  - 10. 文化・芸術活動
  - 11. 治安
  - 12. 自然災害の発生
  - 13. 道路環境
  - 14. その他
- [具体的に\_\_\_\_\_]

問16 問15でお答えいただいた平塚市の良かったところは具体的にどのようなことですか。主なもの1つお答えください。(自由記述)

.....

.....

問17 問15でお答えいただいた平塚市の悪かったところは具体的にどのようなことですか。主なもの1つお答えください。(自由記述)

.....

.....

**アンケートは以上になります。貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございました！！**

**同封の返信用封筒**にて本アンケート用紙をご送付くださいますようお願いいたします。なお、切手を貼らずに、そのまま郵便ポストにご投函いただけます。

☆☆ **1月25日(金)までにご投函をお願いします。** ☆☆

アンケートの実施については、平塚市の企画政策課ホームページ、並びに広報ひらつか（1月4日号）にてお知らせしています。

なお、結果の概要については、調査結果を集計次第、ホームページ等での公表を予定しております。

<参考>平塚市地区別地図



No.	地区	町丁名
1	海岸	久領堤、黒部丘、幸町、葦平、千石河岸、袖ヶ浜、代官町、高浜台、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜、花水台、札場町、松風町、桃浜町、八重咲町、夕陽ヶ丘、龍城ヶ丘
2	平塚	明石町、天沼、榎木町、老松町、上平塚、桜ヶ丘、須賀、諏訪町、浅間町、宝町、立野町、達上ヶ丘、堤町、豊原町、中里、中堂、長瀬、錦町、馬入、馬入本町、平塚1～5丁目、富士見町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町、八千代町
3	大野	追分、大原、御殿1～4丁目、四之宮1～7丁目、新町、中原1～3丁目、中原上宿、中原下宿、西真土1～4丁目、西八幡1～4丁目、東真土1～4丁目、東中原1～2丁目、東八幡1～5丁目、南原1～4丁目
4	豊田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
5	城島	大島、城所、小鍋島、下島
6	岡崎	岡崎、ふじみ野1～2丁目
7	金田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
8	神田	大神、田村1～9丁目、横内、吉際
9	金目	片岡、北金目、北金目1～4丁目、真田、真田1～4丁目、千須谷、広川、南金目
10	土沢	上吉沢、下吉沢、土屋、めぐみが丘1～2丁目
11	旭	出縄、公所、河内、高根、高村、徳延、根坂間、日向岡1～2丁目、纏、万田、山下

## 平成30年度 平塚市転入出者アンケート調査結果報告書

編集・発行 平塚市企画政策部企画政策課

〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号

電話 0463-23-1111 (代表)

0463-21-8760 (ダイヤルイン)

FAX 0463-23-9467

e-mail [kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp)



手をつなぎたくなる街